

FACT BOOK

2020年5月更新

サッポロホールディングス株式会社

① サッポログループの概要

➤ エリア別主要関係会社	4
➤ グループ経営計画2024	5
➤ 主な商品	6
➤ 海外売上収益エリア別構成比・商品構成比	7
➤ サッポログループの海外展開	8

② 各国市場概要とサッポログループの状況

● カナダ：ビール市場概要とサッポログループの状況	10
● 米国：ビール市場概要とサッポログループの状況	12
● ベトナム：ビール市場概要とサッポログループの状況	14
● シンガポール：飲料・ビール市場概要とサッポログループの状況 <ビール・外食・飲料>	15
● 韓国・オセアニア：ビール市場概要とサッポログループの状況	17
● 日本：ビール市場概要とサッポログループの状況	18
飲料市場概要とサッポログループの状況	23
不動産市況概要とサッポログループの状況	27
外食産業市場概要とサッポログループの状況	29

③ サッポログループ財務データ

➤ グループ概要	33
➤ 財務データ（損益動向、財務状態、セグメント情報他）	34
➤ 会社情報	40

①サッポログループの概要

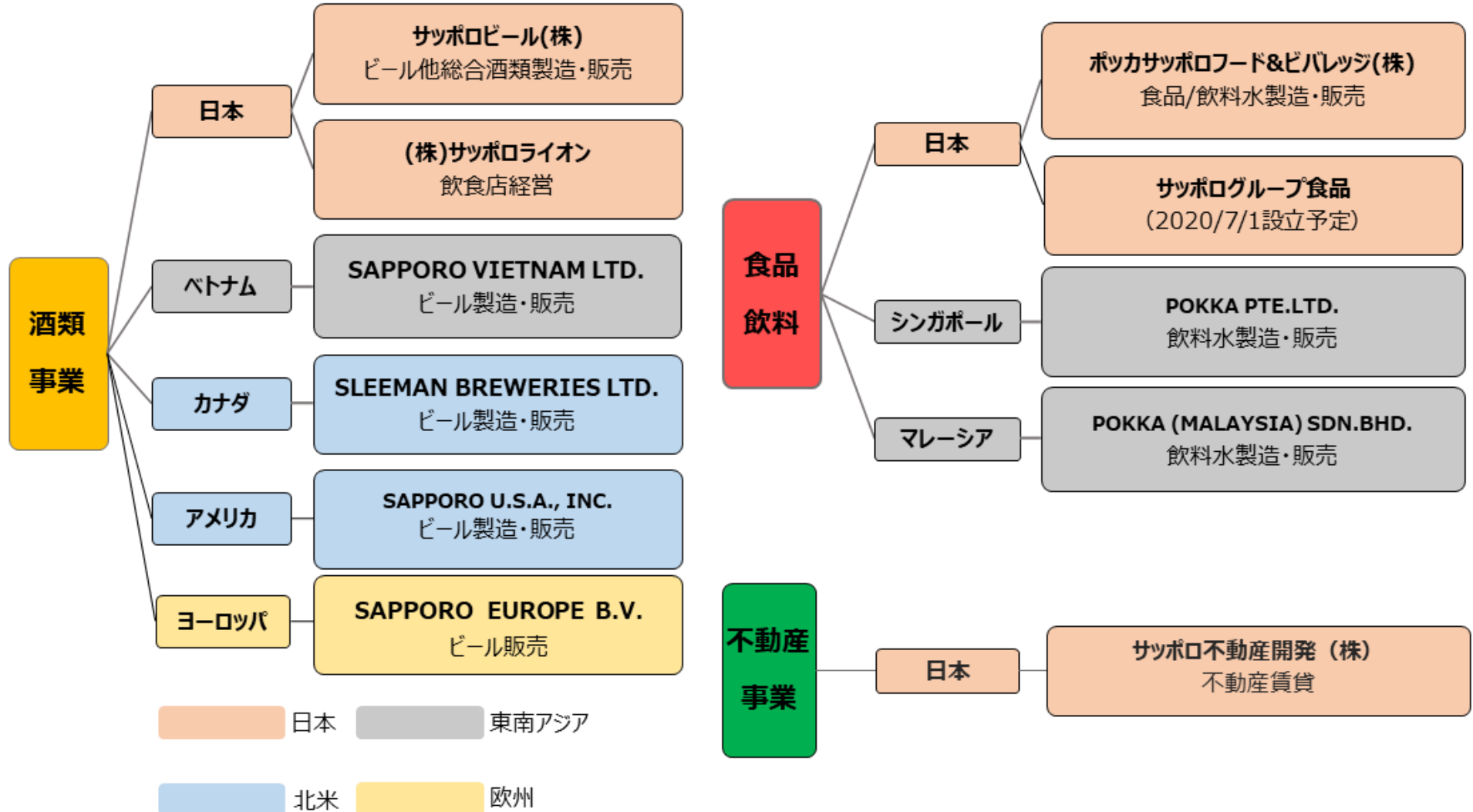
➤ エリア別主要関係会社.....	4
➤ グループ経営計画2024.....	5
➤ 主な商品.....	6
➤ 海外売上収益エリア別構成比・商品構成比.....	7
➤ サッポログループの海外展開.....	8

サッポログループエリア別主要関係会社

現状（2019年12月末時点）

サッポログループ

エリア別
主要関係会社





【基本方針】

本業集中と
強靱化



- ビール事業への経営資源集中
- 低収益事業の縮小・撤退と、食をはじめとする成長分野へのシフト

シンプルでコンパクトな
企業構造の確立



- 小さい本社・わかりやすい組織に再編、BPR・DXの推進
- SHはガバナンス・事業会社支援・経営資源配分機能に特化
- 事業会社に事業推進の機能全てを移管し、機動力を発揮

グローバル展開の
加速



- 海外事業を事業会社に全て移管、一貫したブランドの世界戦略を展開
- 北米とアジアパシフィックを中心に収益力強化と共に成長を加速
- グローバル人財の育成

サステナビリティ経営の
推進



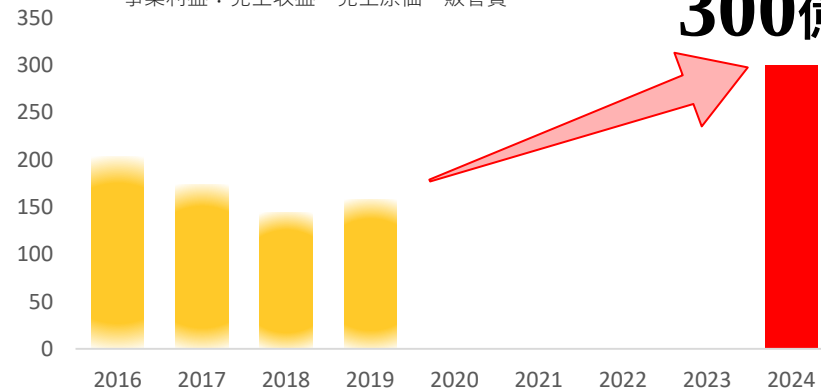
- 良質原料を自ら作り上げる仕組みなどをはじめとした、社会的価値と経済的価値の両立
- 恵比寿・札幌・銀座というゆかりある地域のまちづくり推進
- 時代の要請に即した経営の透明性と公正性の進化

財務目標・財務方針

【財務目標】 2024年にグループ連結事業利益**300億円**を達成

< 事業利益 >

事業利益：売上収益－売上原価－販管費



300億円

< 重要指標 >

- 売上収益成長率
- 売上収益事業利益率
- 海外売上収益成長率

2%以上
(年平均)

5%以上

1.6倍
(2019年比)

【財務方針】 投下資本に対する**収益性を重視**、
財務構成・財務安定性は**現状維持**
株主還元方針としては、引き続き**安定配当**を志向



サッポログループ主な商品



国内

サッポロビール（株）



酒類

ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）



神州一味噌（株）



食品

ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）



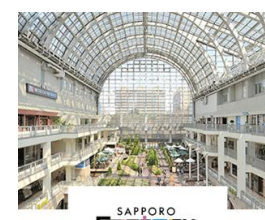
飲料

（株）サッポロライオン



外食

サッポロ不動産開発（株）



不動産

海外

Sleeman Breweries Ltd.



Sapporo Vietnam Ltd.



酒類

Sapporo U.S.A., Inc.



Anchor Brewing Company, LLC



Sapporo Europe B.V.



Pokka Pte. Ltd.



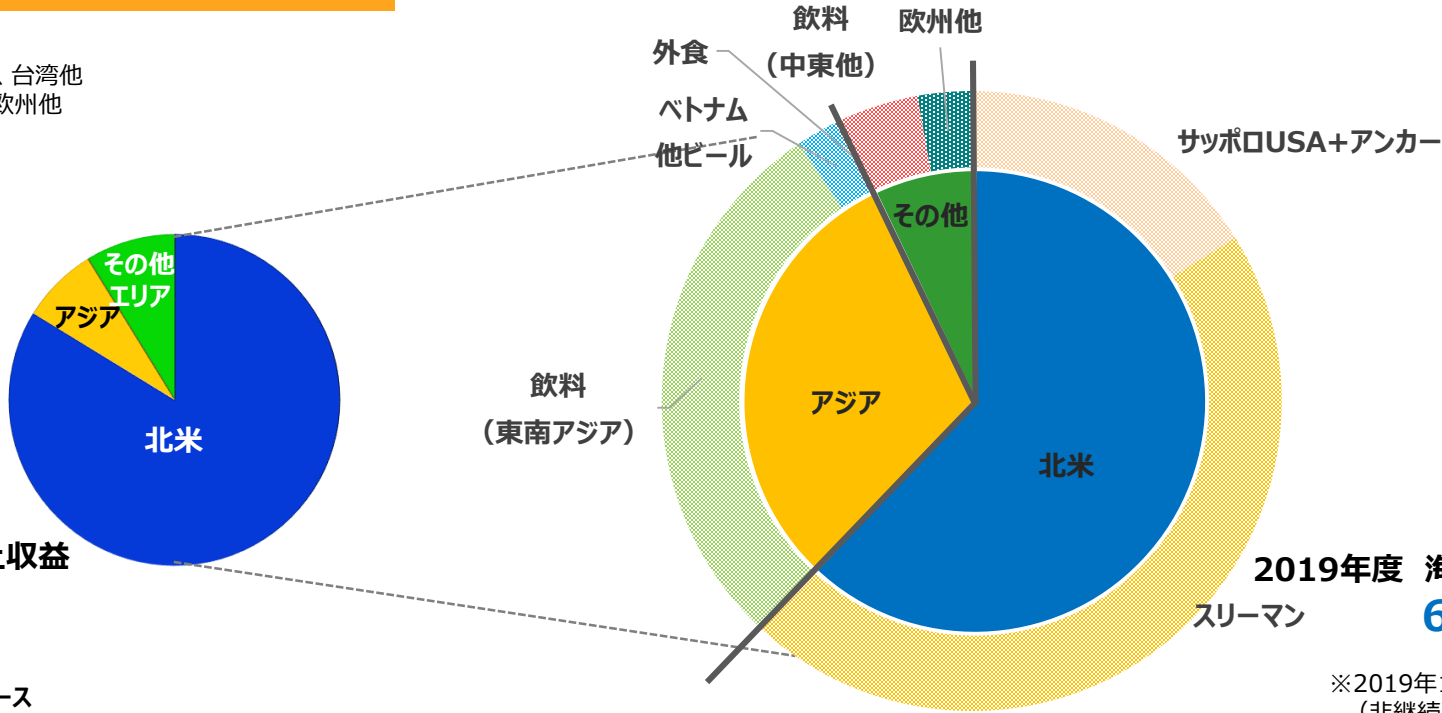
飲料

Sapporo Lion (Singapore) Pte. Ltd.



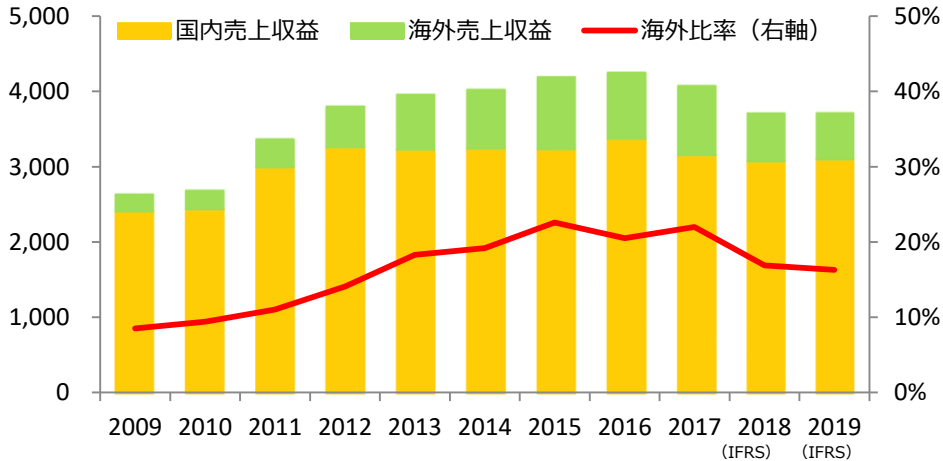
外食

北米：カナダ、米国
アジア：東南アジア、韓国、香港、台湾他
その他エリア：オセアニア、中東、欧州他



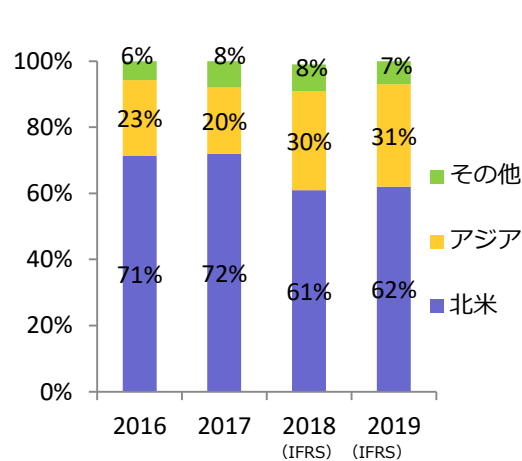
海外売上高
エリア別構成比
商品別構成比

★サッポログループ
海外売上収益推移（酒税抜き）単位：億円

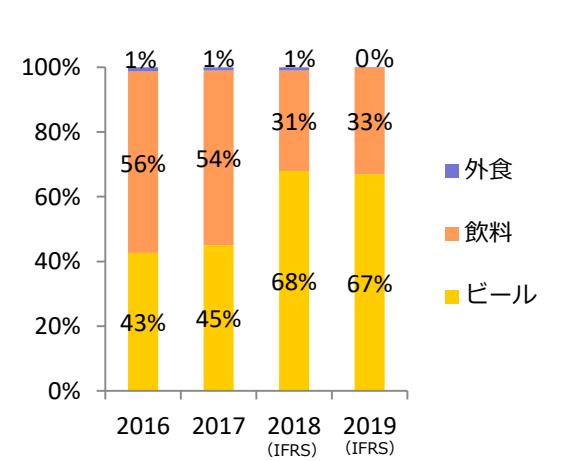


※非継続事業は数値から除いております。（2018年、2019年から除外）

★サッポログループ
海外売上収益エリア別構成比推移



★サッポログループ
海外売上収益商品別構成比推移



サッポログループ
海外展開



②各国市場概要とサッポログループの状況

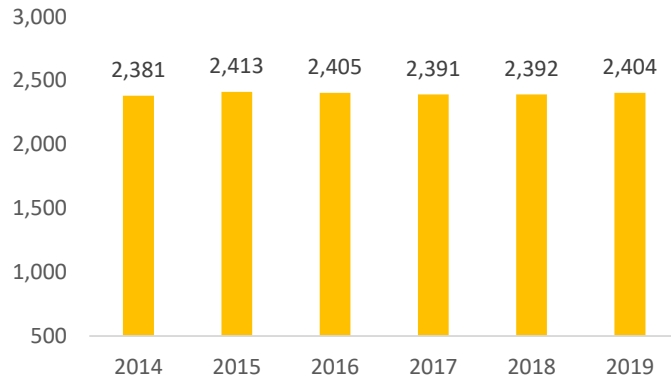
● カナダ：ビール市場概要とサッポログループの状況.....	10
● 米国：ビール市場概要とサッポログループの状況.....	12
● ベトナム：ビール市場概要とサッポログループの状況.....	14
● シンガポール：飲料・ビール市場概要とサッポログループの状況<ビール・外食・飲料>	15
● 韓国・オセアニア：ビール市場概要とサッポログループの状況.....	17
● 日本：ビール市場概要とサッポログループの状況.....	18
飲料市場概要とサッポログループの状況.....	23
不動産市況概要とサッポログループの状況.....	27
外食産業市場とサッポログループの状況.....	29



カナダビール市場概要

★カナダ国内 市場規模 単位：千KL

出典：ユーロモニター
数量ベース抽出



SLEEMAN BREWERIES LTD.

カナダ第3位ビールメーカー

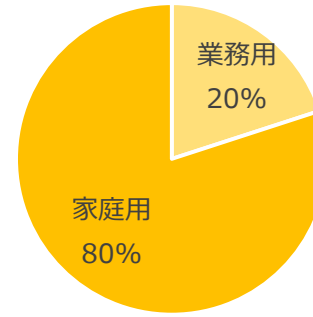
2006年に、当グループがSLEEMAN BREWERIES LTD.を連結子会社化しました。スリーマンは、カナダにおいて、第3位ビールメーカーであり、プレミアムのカテゴリで好評を博しています。子会社になって以来、2006年から約2.5倍増を達成した。

★基本情報

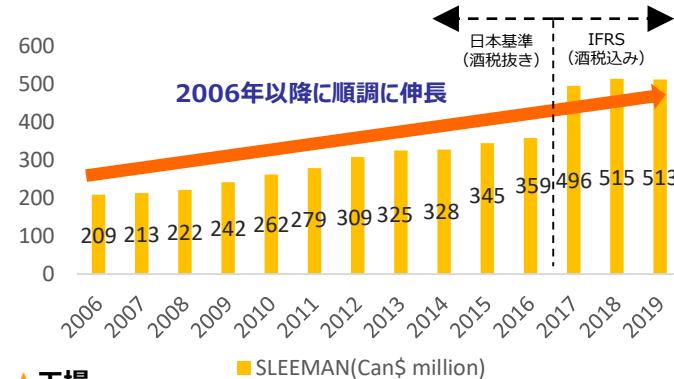
資本金	299 million CA\$
所在地	カナダ オンタリオ州ゲルフ
創業	1834年
買収金額	293.6mnCA\$ (2006年) 日本円換算 約303億円 (1CA\$ = 103.27円)
生産拠点	3工場 (ゲルフ、バーノン、シャンプリー)
生産能力	20万KL (ゲルフ12万KL・バーノン6万KL ・シャンプリー2万KL)
事業内容	ビールの製造、輸入、販売

★カナダ国内 ビール家庭用/業務用構成比 2019年

出典：ユーロモニター
数量ベース抽出



★スリーマン 現地通貨建て売上金額推移 (連結消去前)

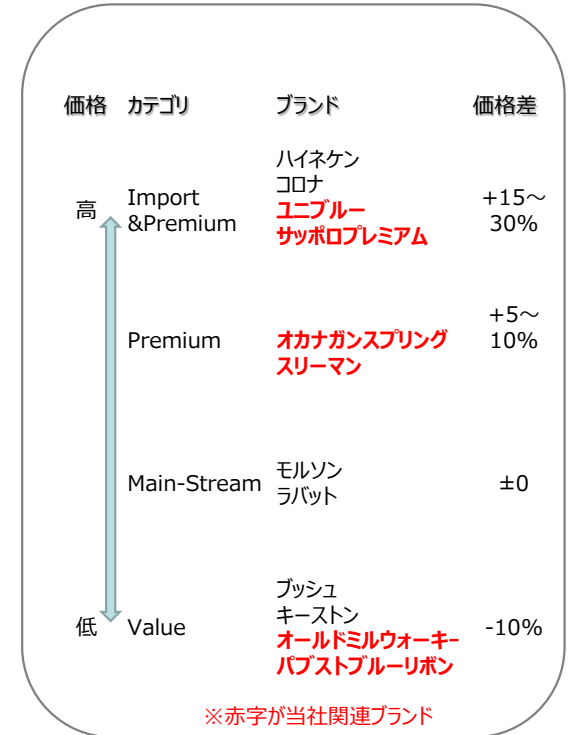


★工場



★カナダ国内 価格帯別ブランド一覧

SAPPORO



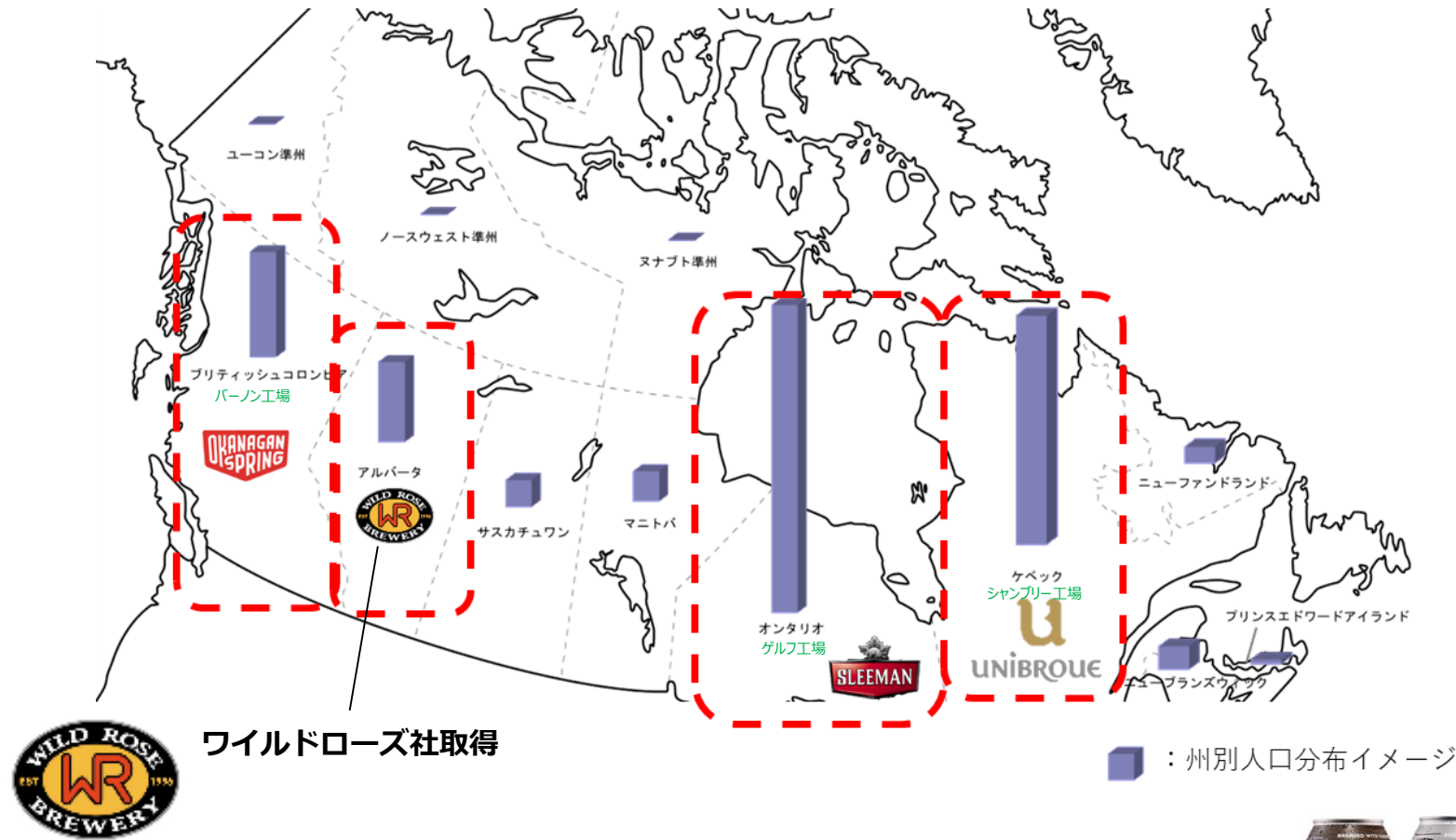
SLEEMAN
BREWRIES





カナダ

ビール市場概要
サッポログループの状況



2019年5月
小規模ながら、アルバータ州のカルガリーで高いシェアを誇る
ワイルドローズ社を買収したことで、スリーマン社の4戦略市場
において、地域ブランドと製造拠点を確保。





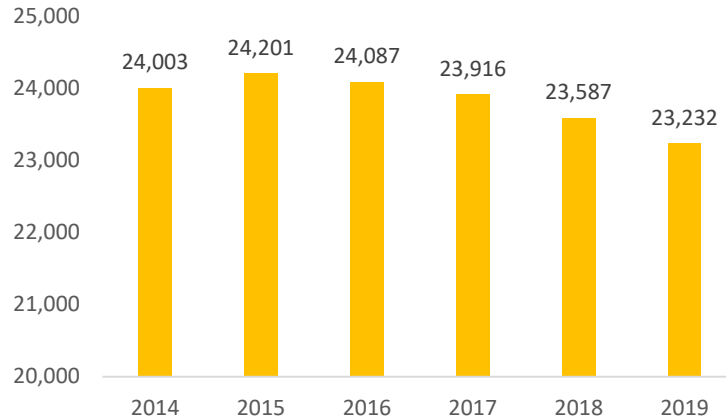
米国

ビール市場概要
サッポログループの状況

米国ビール市場概要

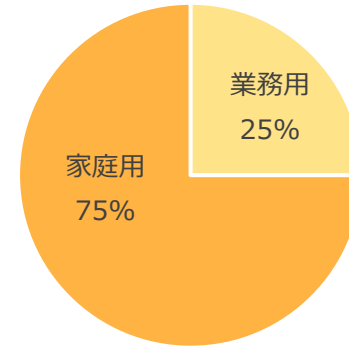
★米国国内 ビールの市場規模 単位：千KL

出典：ユーロモニター
数量ベース抽出



★米国国内 ビール家庭用/業務用構成比 2019年

出典：ユーロモニター
数量ベース抽出



★米国国内 ビールの価格帯別ブランド一覧

SAPPORO

価格	カテゴリ	ブランド	価格差
高	Craft	アンカースチーム サミュエルアダムス シエラネバダ	+40～ 50%
	海外ブランド	サッポロプレミアム コロナ ハイネケン	
	Super Premium	ミケロブ ブルームーン ショックトップ	+30～ 40%
	Premium	バドワイザー クアーズ ミラー	±0
低	Popular	ブッシュ バブスト ハイライフ キーストーン	-10～ 30%

※赤字が当社関連ブランド

SAPPORO U.S.A. Inc.& ANCHOR BREWING COMPANY, LLC

★米国内エリア展開



・当社売上の約6割を占めるカリフォルニア州、テキサス州、フロリダ州、ニューヨーク州の4エリアが戦略市場

・アンカーを除き地域ブランド/製造拠点は保有しておらず、ブランドポートフォリオとSCM体制の構築が急務の課題

※サッポロUSA社とアンカー社は、製造・販売両面においてシナジー効果を最大限発揮するため、2019年4月1日より経営統合。



米国

サッポログループの状況

SAPPORO U.S.A. Inc.

33年連続米国内アジアビールNO.1

1964年から、サッポロビールが米国向けにビールの輸出を開始しました。その後、1984年にSapporo U.S.A社を設立。日本から輸入したSapporo Draft Beerを販売しながら、販路を拡大し、さらなる発展の基盤を築きました。

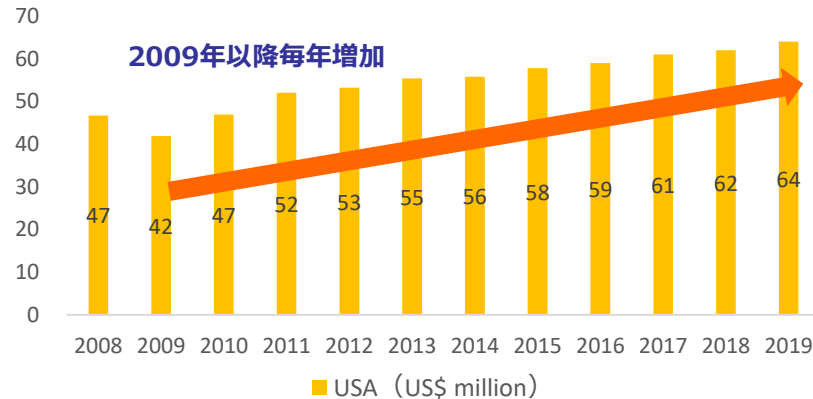
★基本情報

現地法人	Sapporo U.S.A Inc.
資本金	7.2 million\$
市場参入	1984年7月設立
事業内容	ビールの販売

★サッポロU.S.A.

現地通貨建て売上金額推移（連結消去前）

※サッポロブランドのみ



★商品のラインナップ



スタイリッシュで独特な形状の650ml缶はシルバーカップの愛称で親しまれている



※サッポロUSA社とアンカー社は、製造・販売両面においてシナジー効果を最大限発揮するため、2019年4月1日より経営統合。

ANCHOR BREWING COMPANY, LLC

サンフランシスコを代表するプレミアムビールブランド

2017年8月 米国クラフトビール業界の先駆者であるアンカー・ブリューイング・カンパニー社の全持分を取得しました。

アンカー社は、1896年にサンフランシスコで設立された米国を代表する歴史あるビールメーカーであり、地元サンフランシスコを中心に米国各地で120年以上わたって多くのお客様に愛飲されてきたプレミアムブランドです。

アンカー社の取得により、当グループが持つ米国ビール事業の基盤にアンカー社の強いブランド力とネットワークが加わることで、米国での事業成長スピードを加速させます。

★基本情報

現地法人	Anchor Brewing Company, LLC
取得金額	11,913百万円
市場参入	1896年設立
生産拠点	カリフォルニア州 サンフランシスコ
生産能力	26,910KL
売上収益	約19.65million \$ (2019年12月期)
事業内容	ビール製造・販売

★商品のラインナップ





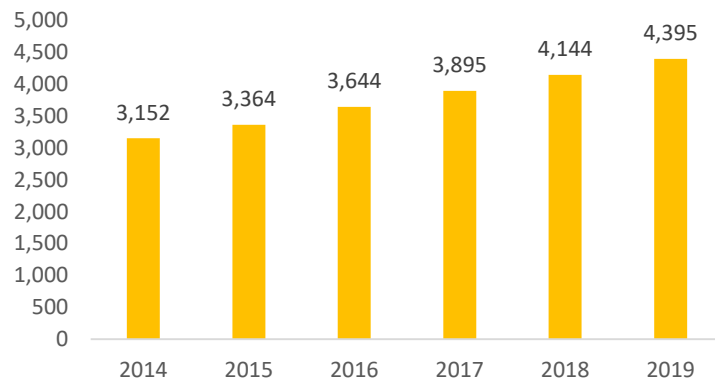
ベトナム

ビール市場概要と
サッポログループの状況

ベトナム ビール市場概要

★ベトナム国内 ビールの市場規模 単位：千KL

出典：ユーロモニター
数量ベース抽出



SAPPORO VIETNAM LTD.

日本のビールメーカーとして初めて、ベトナムにビール工場を建設し市場参入を果たしました。

東南アジアの戦略では、ベトナムを「サッポロ プレミアム」販売拡大のための橋頭堡と位置付けており、地の利を最大限に活かしながらASEAN 10か国のうち7か国へ展開しています。

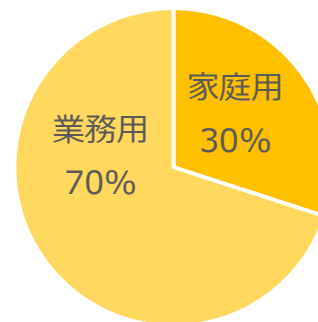
2017年には、カナダのSLEEMAN社Guelph工場で製造していたシルバーカップを、ベトナムでの製造へ移管し、グローバルでのサプライチェーン最適化を推進しています。2018年に黒字化に成功。

★基本情報

現地法人	Sapporo Vietnam LTD..
資本金	708,595百万ベトナムドン(≒39mn\$)
市場参入	2010年設立、2011年ロンアン工場竣工
設備投資	52億円
生産能力	6万KL
事業内容	ビールの製造・販売

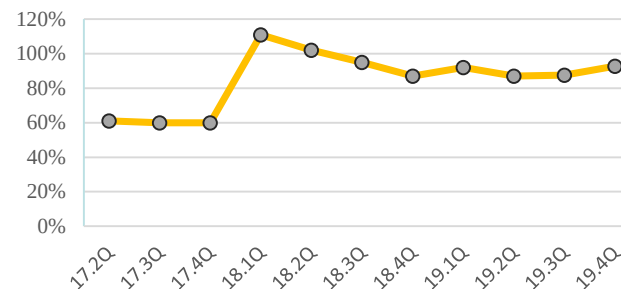
★ベトナム国内 ビール家庭用/業務用構成比 2019年

出典：ユーロモニター
数量ベース抽出



★サッポロベトナム

ベトナム国内 売上数量 前期比の推移



★ベトナム国内 ビールの価格帯別ブランド一覧



価格	カテゴリ	ブランド	価格
高	プレミアム	サッポロプレミアム ハイネケン バドワイザー	75円～
メイン	ストリーム	タイガー サイゴンススペシャル ブルーキャップ	60円～
低	エコノミー	333 ララー	40円～

※赤字が当社関連ブランド
* 1円 = 0.0046ベトナムドン (5/12時点)

★商品ラインナップ





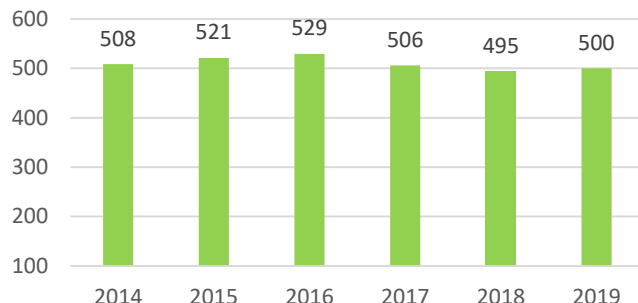
シンガポール

飲料市場概要と
サッポログループの状況

シンガポール飲料市場概要

★シンガポール国内 飲料市場規模 単位:千KL

出典:ユーロモニター 数量ベース抽出



POKKA PTE. LTD.

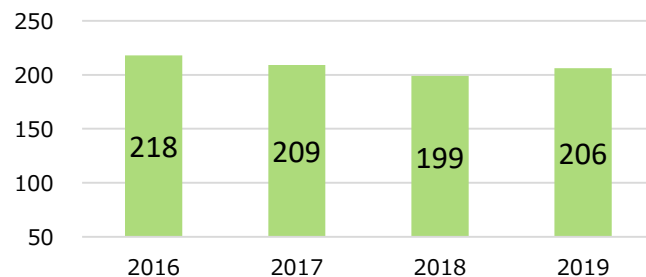
1977年、日本の飲料メーカーに先駆けて、海外生産拠点ポッカコーポレーション・シンガポールを設立し、以来40年にわたってPOKKAブランドの飲料を展開。シンガポール国内ではジャスミングリーンティーを中心に、茶系飲料で圧倒的なシェアを誇り、果汁飲料、コーヒー飲料でもPOKKAブランドの存在感は増えています。

また、シンガポールから東南アジア、中東など世界約60ヶ国にPOKKAブランドの飲料を輸出しており、更なる成長を目指しています。

★基本情報

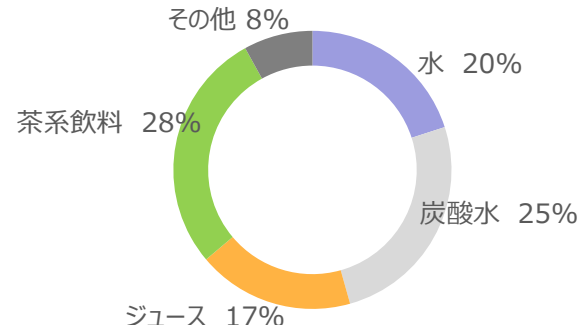
資本金 26mn SG\$
市場参入 1977年1月設立
製造能力 約800万CS/年
事業内容 清涼飲料水の製造、販売

★売上金額の推移 単位:SG\$ million



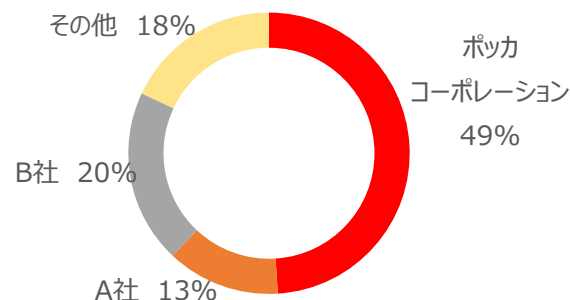
★シンガポール国内 飲料カテゴリ別構成比 2019年

出典:ユーロモニター 数量ベース抽出

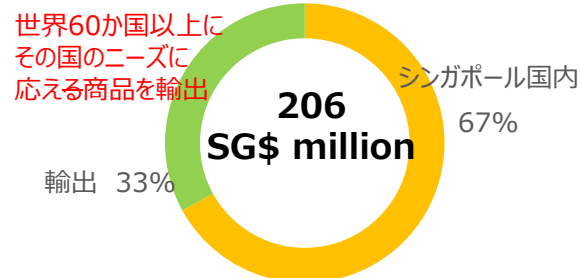


★ポッカコーポレーション シンガポール国内茶系飲料 家庭用のシェア 49% 第1位 2019年

出典:ユーロモニターShare- Off-trade Volume



★ポッカコーポレーション 売上金額国内外比率 (2019年実績)



★ポッカコーポレーション 商品ラインナップ





シンガポール マレーシア

市場概要と サッポログループの状況

シンガポール グループのビール事業状況

- 2010年より
POKKA CORPORATION (SINGAPORE)
と協働で家庭用市場への販路拡大中
- 2019年売上函数
前年比**99%**
2010年対比で約**4倍**成長

マレーシア（飲料） POKKA (MALAYSIA) Sdn. Bhd.

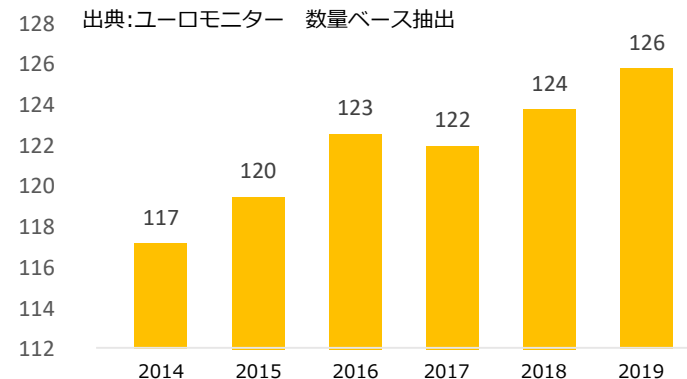
現地法人 POKKA (MALAYSIA) Sdn. Bhd.
マレーシア工場総工費
34mn SG\$ （日本円換算≒約27億円）
市場参入 2014年8月設立
製造能力 約600万CS/年
事業内容 清涼飲料水の製造、販売
ハラール認証取得

シンガポール（外食） SAPPORO LION (SINGAPORE) PTE. LTD.

★基本情報

現地法人 SAPPORO LION (SINGAPORE) PTE. LTD.
資本金 4mn SG\$
市場参入 1991年8月
POKKA FOOD(SINGAPORE) PTE .LTD.設立
外食店舗を運営
2013年1月 サッポロライオンの子会社化
「GINZA LION BEER HALL」を運営
事業内容 ビヤホール、レストラン運営

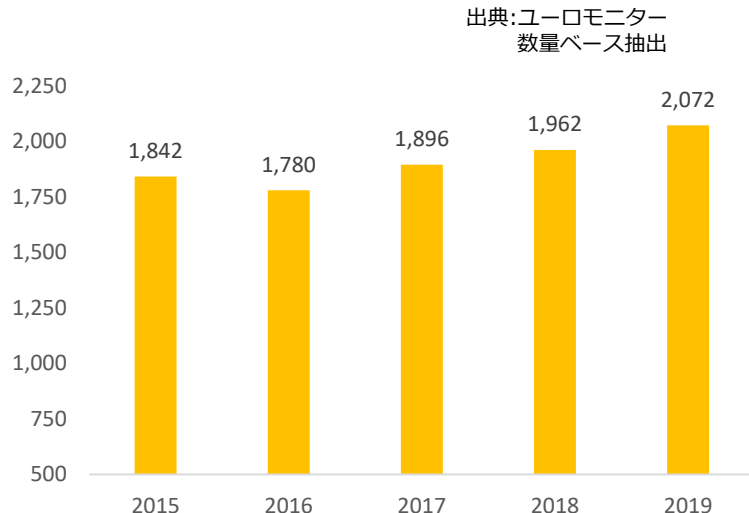
シンガポール国内 ビール市場概要 単位:千KL



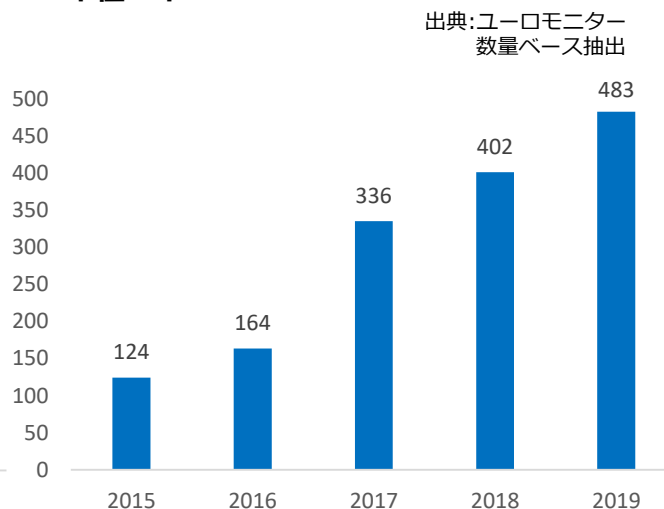


韓国ビール市場概要とサッポログループの展開

★韓国国内 ビール市場 単位：千KL



★プレミアム輸入ビールの市場状況 単位：千KL



★サッポログループの状況



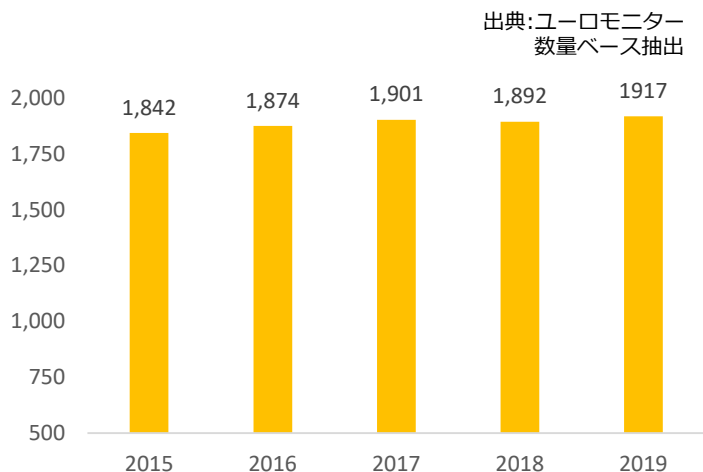
- ・2010年11月
韓国大手乳業メーカー
メイル乳業とビール販売事業業務提携
- ・2012年1月
メイル乳業の酒類販売会社
M's Beverage Co., Ltd.の株式15%を
取得、商品販売体制強化
- ・**2017年9月**
エビスビール販売開始
- ・2018年売上函数
2011年対比で**10倍に成長**



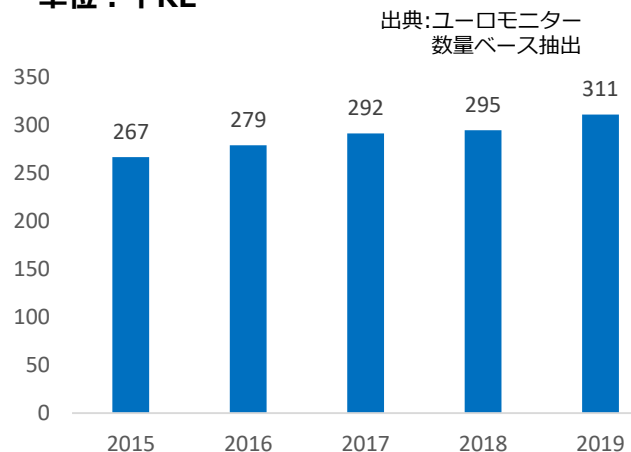
サッポロ
ブランドの
更なる拡大
を目指して

オセアニアビール市場概要とサッポログループの展開

★オーストラリア国内 ビール市場 単位：千KL



★プレミアム輸入ビールの市場状況 単位：千KL



★サッポログループの状況



- ・2011年7月19日
オーストラリア No.3ビールメーカー
Coopers Brewery Ltd. と
ビールのライセンス生産契約締結
- ・2018年売上函数
前期比**117%**
2012年対比で**3.8倍に成長**



韓国・オセアニア

ビール市場概要と
サッポログループの状況



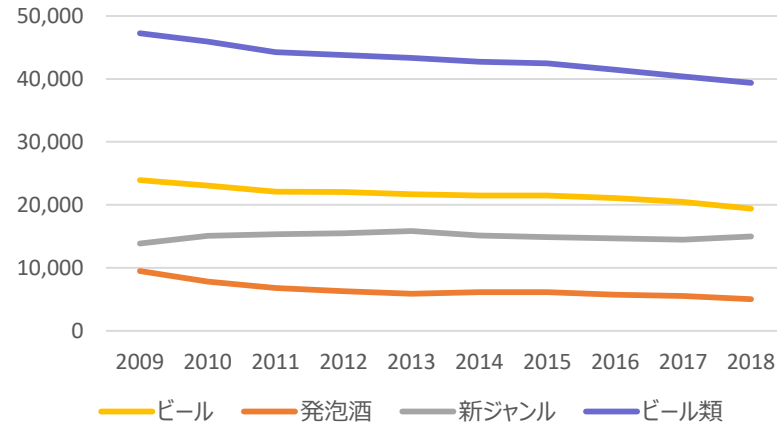
日本

ビール市場概要とサッポログループの状況

日本国内のビール類市場概要

★日本国内 ビール類市場規模 (万函、ビール5社課税移出数量ベース)

出典:ビール酒造組合
に基づき、当社作成

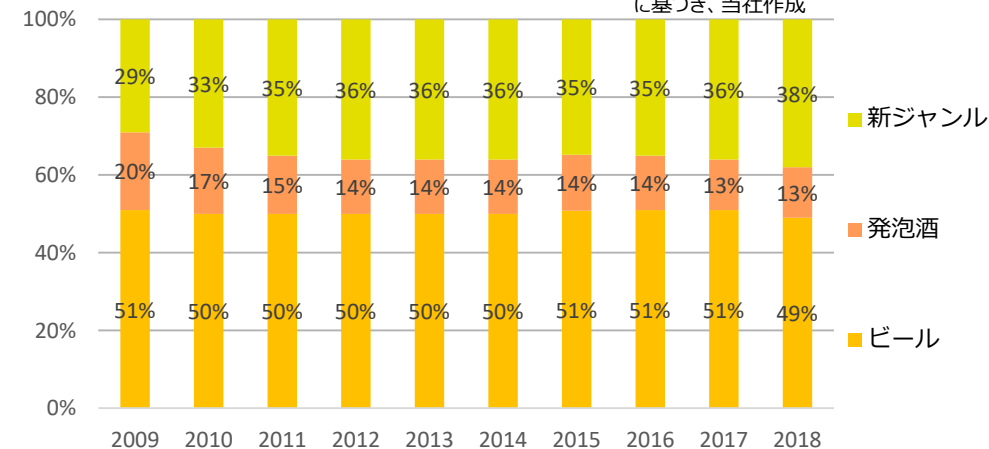


★前年比当社推計値 (2019/2018比)

ビール類 99%弱 発泡酒 93%弱
ビール 96%弱 新ジャンル 104%弱

★日本国内 ビール類市場 カテゴリ別構成比推移 (万函、ビール5社課税移出数量ベース)

出典:ビール酒造組合
に基づき、当社作成

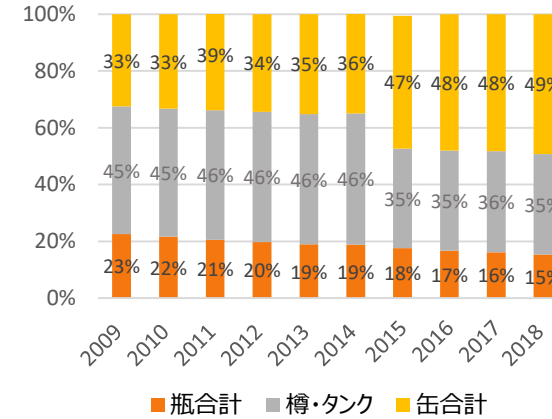


★前年比当社推計値 (2019/2018比)

ビール 96%弱 発泡酒 93%弱 新ジャンル 104%弱

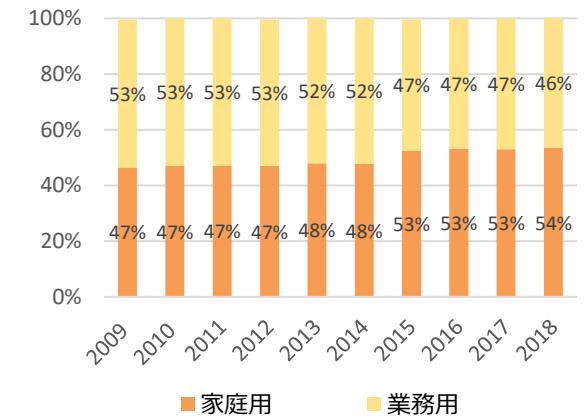
★日本国内 ビール容器別構成比 (ビール5社課税移出数量ベース)

出典:ビール酒造組合に基づき、当社作成



★日本国内 ビール家庭用/業務用構成比 (ビール5社課税移出数量ベース)

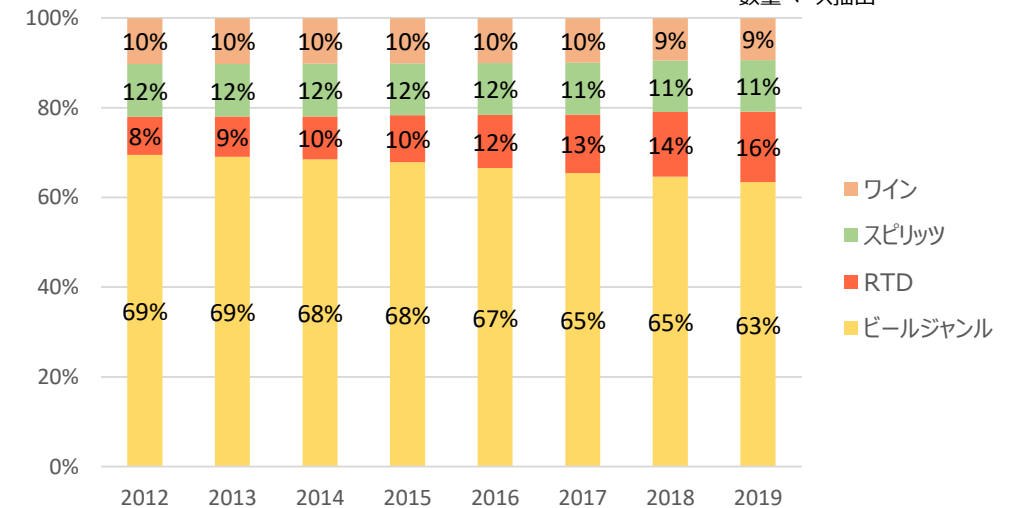
出典:ビール酒造組合に基づき、当社作成



*ビール酒造組合非公表にて2019年数値無し

★日本国内 総合酒類カテゴリ別構成比推移

出典:ユーロモニター
数量ベース抽出





日本

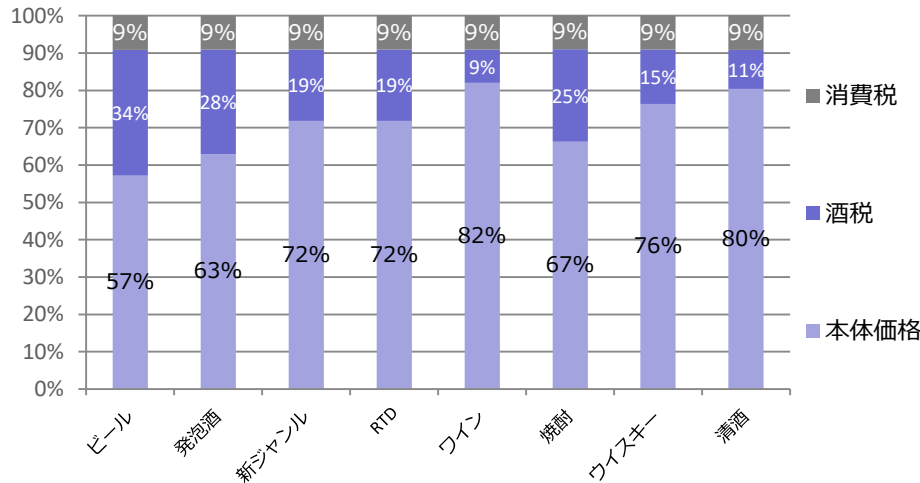
ビール市場概要とサッポログループの状況

日本国内のビール類市場概要

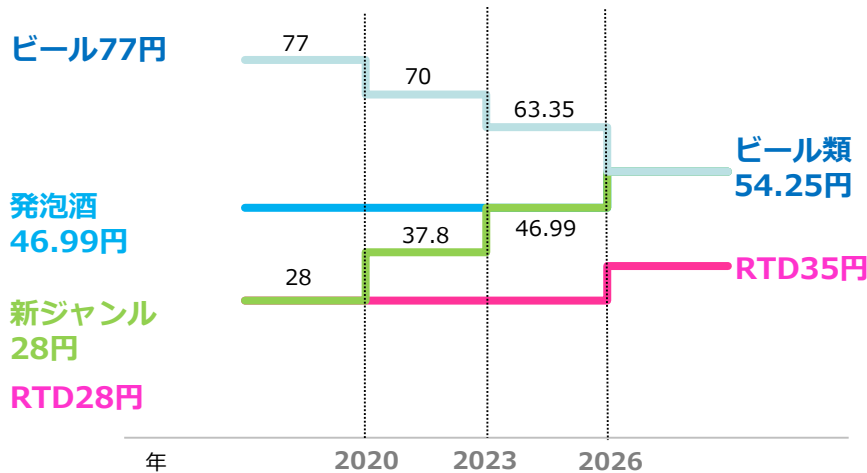
* 酒税については2019年12月時点（円）

★日本国内 主要酒類の酒税等負担率

出典：国税庁「酒のしおり（R2.3）」



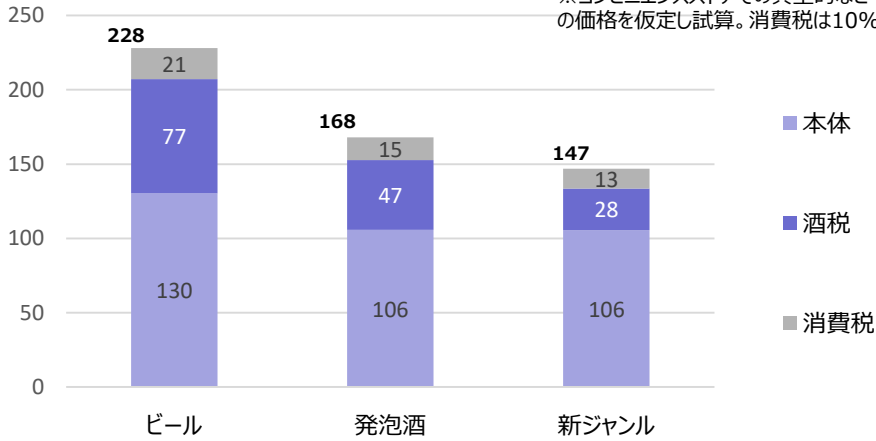
★ 350ml当たりの酒税額の推移



出典：国税庁資料を基に、サッポロビール作成

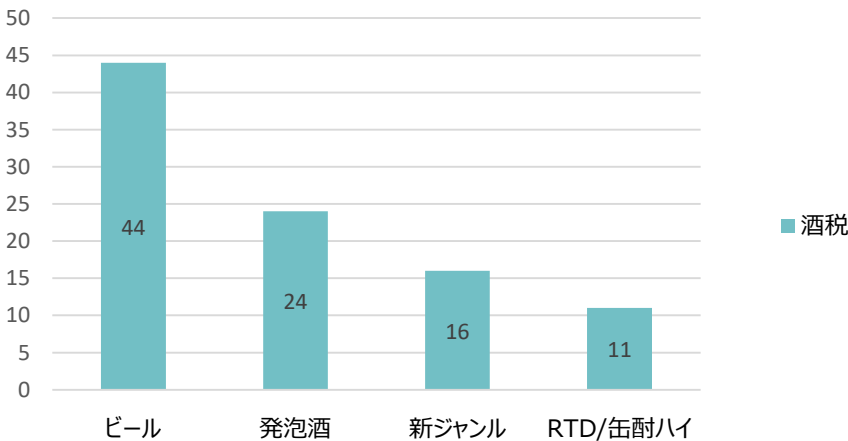
【ビール類350ml缶当たりの酒税比較（円）】

出典：国税庁「酒のしおり（R2.3）」
※コンビニエンスストアでの典型的なビール類製品の価格を仮定し試算。消費税は10%ベースで計算



【アルコール分1度1リットル当たりの酒税】

出典：国税庁「酒のしおり（R2.3）」





日本

サッポログループの状況

サッポロビール株式会社

1876年の創業以来モノ造りにこだわり、その中で「サッポロ生ビール黒ラベル」「エビスビール」という2つのブランドをお客様と共に育ててまいりました。

一方、日本で唯一のビール博物館である「サッポロビール博物館」、恵比寿の地名の由来である「エビスビール」の歴史を展示する「エビスビール記念館」、ならびに日本のビール文化を健全に発展させる目的で2012年から開始した「日本ビール検定（通称びあけん）」などを通じ、世界に誇る日本のビール文化の醸成にも貢献しています。

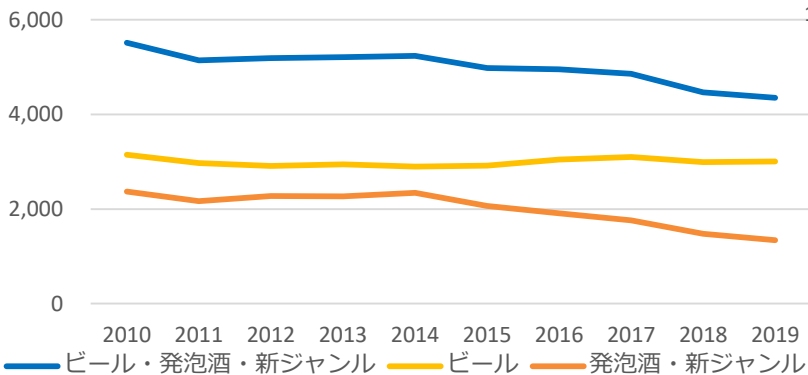
また、ワイン、焼酎、洋酒、RTD、ビールテイスト飲料などに関しても、サッポロビールにしかできないオンリーワンのモノ・コトをご提供し、お客様にとっての感動創造企業No.1を目指していきます。

★基本情報

資本金	100億円
本社	東京都
市場参入	1876年9月 開拓使麦酒醸造所設立 1949年9月 日本麦酒株式会社発足 2003年7月 サッポログループの純粋持株会社制移行により、 酒類事業を担う新・サッポロビール(株) を設立
生産拠点	ビール6工場（北海道、仙台、那須、千葉、静岡、九州日田） 和酒工場（群馬、福岡） ワイナリー（勝沼、岡山）
事業内容	ビール・発泡酒・新ジャンル・ワイン・焼酎などの 製造販売、洋酒の販売、他

★サッポロビール

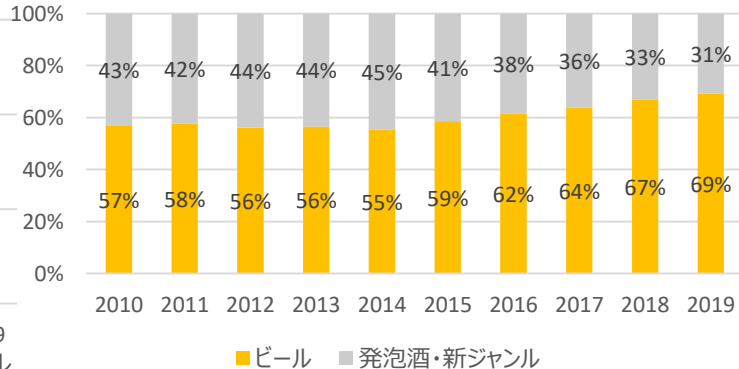
ビール類 カテゴリ別 販売数量（万箱）



★生産拠点・見学施設



★サッポロビール カテゴリ別構成比推移
販売数量ベース



★サッポロビール
ビール類の主なブランド





日本

サッポログループの状況

★サッポロビール ビール前年比売上数量

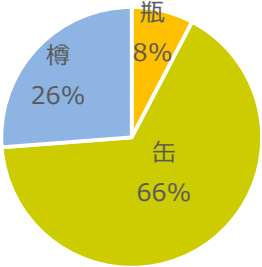
【サッポロ ビール】 (売上数量)
前期比101% (総需要約96%)
「黒ラベル」：ブランド計 前期比99%
(缶：ブランド計 前期比103%)
「エビス」：ブランド計 前期比97%

【サッポロ 発泡酒・新ジャンル】 (売上数量)
前期比91% (総需要約101%)
「麦とホップ」：ブランド計 前期比96%

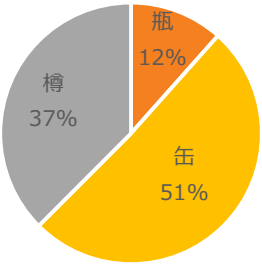
【サッポロ ワイン・スピリッツ等】 (売上金額)
ワイン事業：前期比98%
RTD事業：前期比129%
洋酒事業：前期比115%
和酒事業：前期比86%



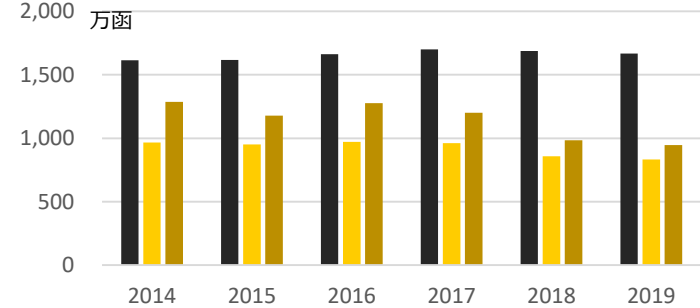
★サッポロビール
ビール類 容器別比率 販売ベース 2019年



★サッポロビール
ビール 容器別比率 販売ベース 2019年

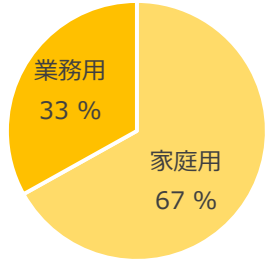


★サッポロビール
基幹3ブランド 売上数量 (販売数量) 推移

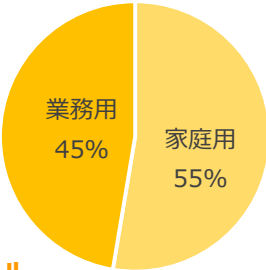


■ 黒ラベルブランド計 ■ エビスブランド計 ■ 麦とホップブランド計 ■ 黒ラベル ■ エビス ■ その他ビール

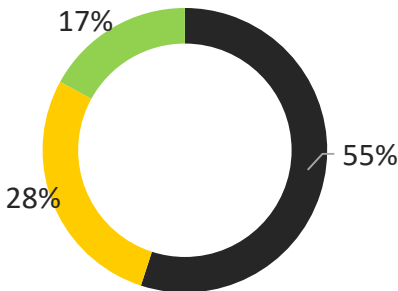
★サッポロビール
ビール類 家庭用/業務用構成比 販売ベース 2019年



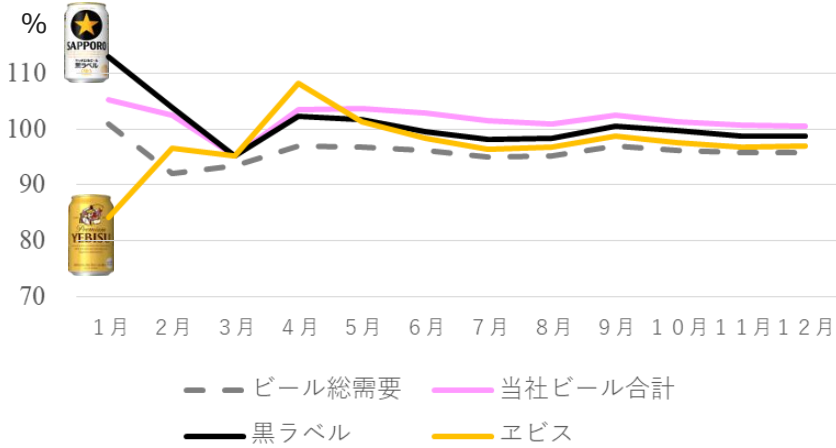
★サッポロビール
ビール 家庭用/業務用構成比 販売ベース 2019年



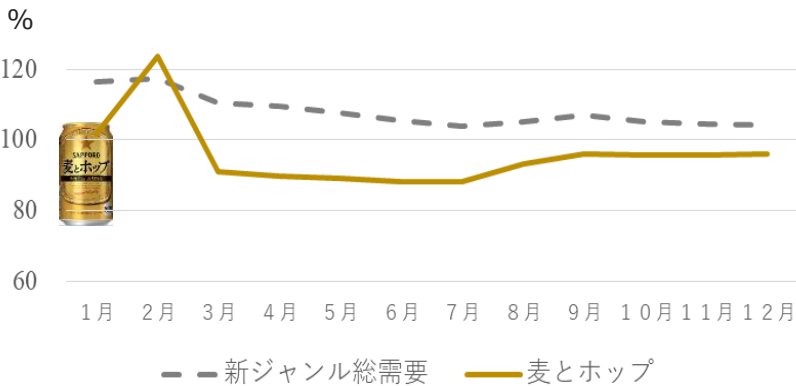
★サッポロビール
ビール カテゴリラインナップ構成比 2019年



★サッポロビール
2019年 黒ラベル・エビス 売上数量 前期比 推移



★サッポロビール
2019年 麦とホップ 売上数量 前期比 推移

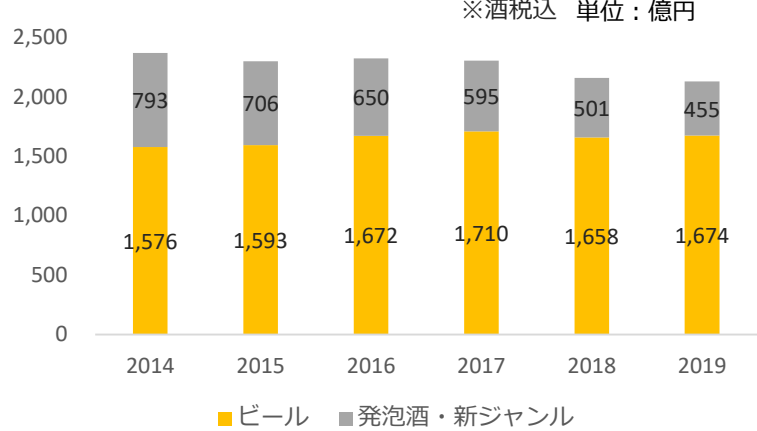




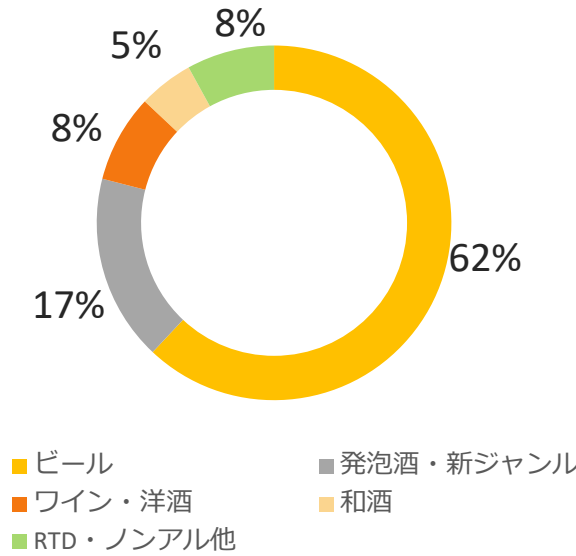
日本

サッポログループの状況

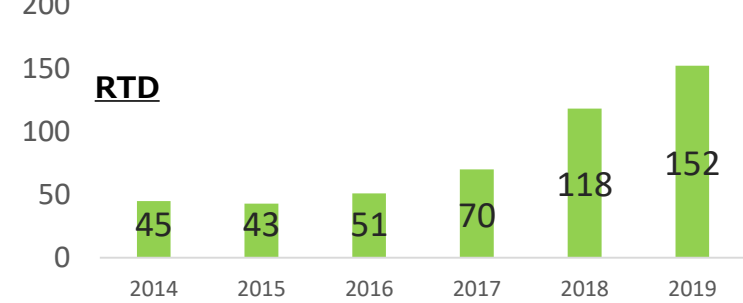
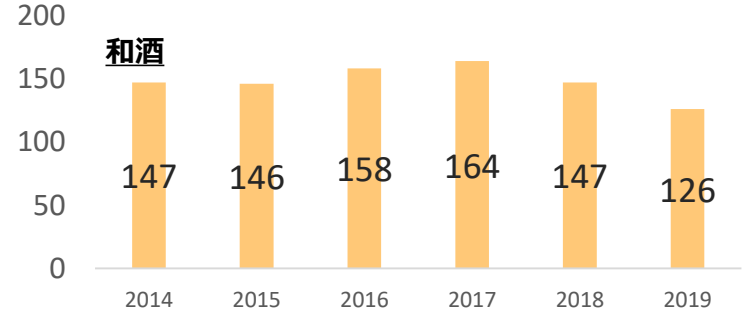
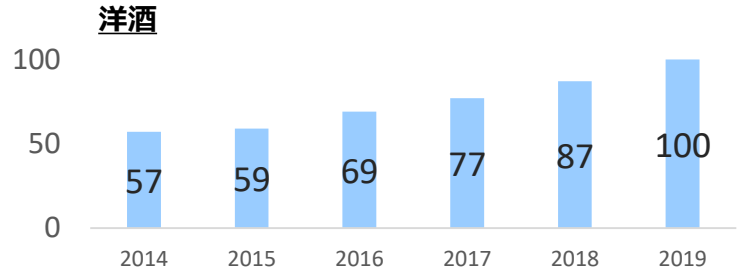
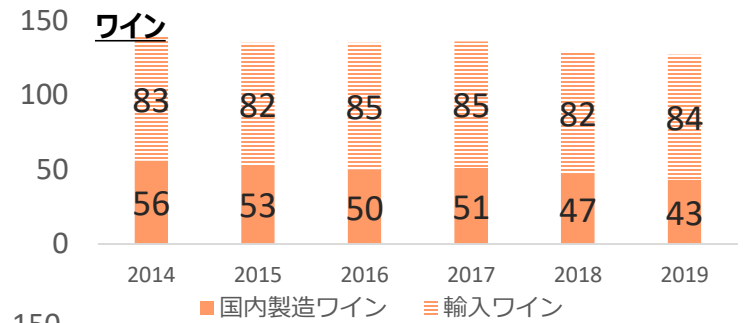
★サッポロビール 国内酒類事業カテゴリ別
売上金額 推移



★サッポロビール 国内酒類事業カテゴリ別
売上金額構成比 2019年



★サッポロビール 商品カテゴリ別売上金額 単位：億円





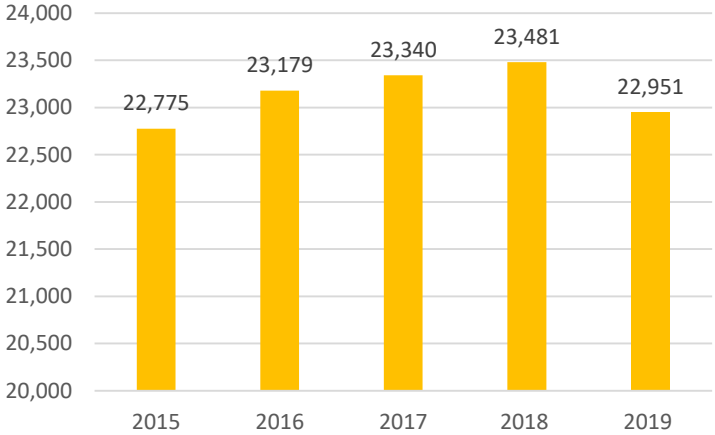
日本

飲料市場概要と
サッポログループの状況

日本国内飲料市場概要

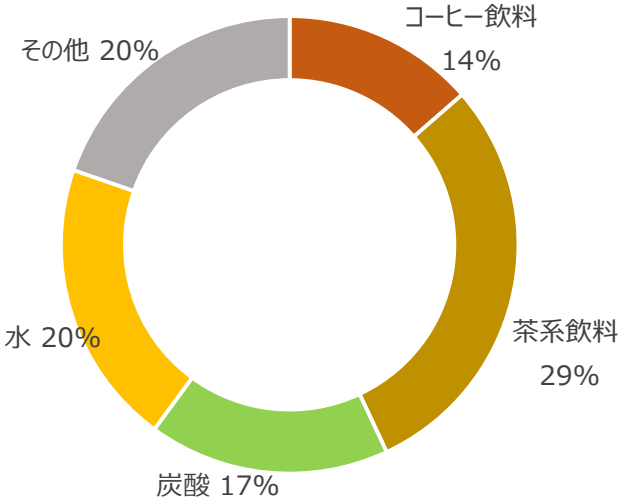
★日本国内 飲料市場の規模 単位:千KL 2019年

出典:ユーロモニター 数量ベース抽出



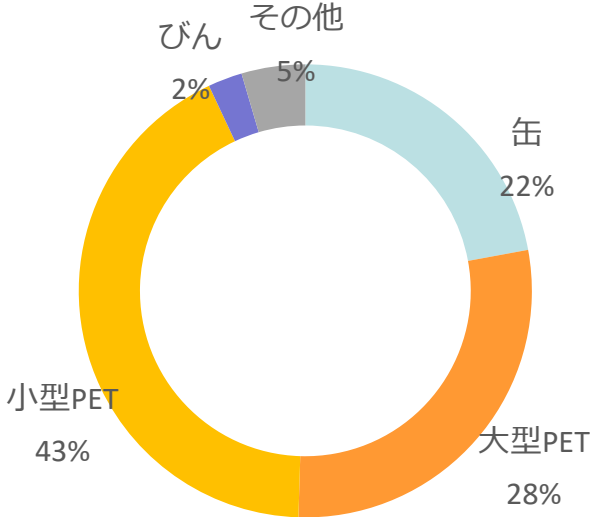
★日本国内 飲料市場カテゴリ別構成比 2019年

出典:ユーロモニター 数量ベースで抽出



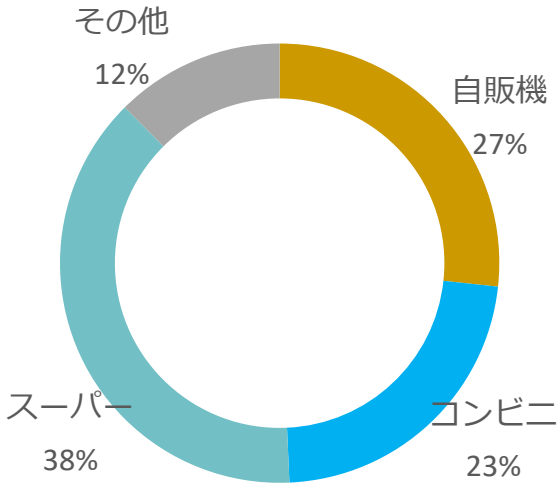
★日本国内 飲料市場容器別構成比 数量ベース 2019年

出典:飲料総研『飲料ビジネス3月号』 数量ベースで抽出



★日本国内 飲料市場チャネル別構成比 2019年

出典:飲料総研『飲料ビジネス3月号』 数量ベースで抽出





日本

サッポログループの状況

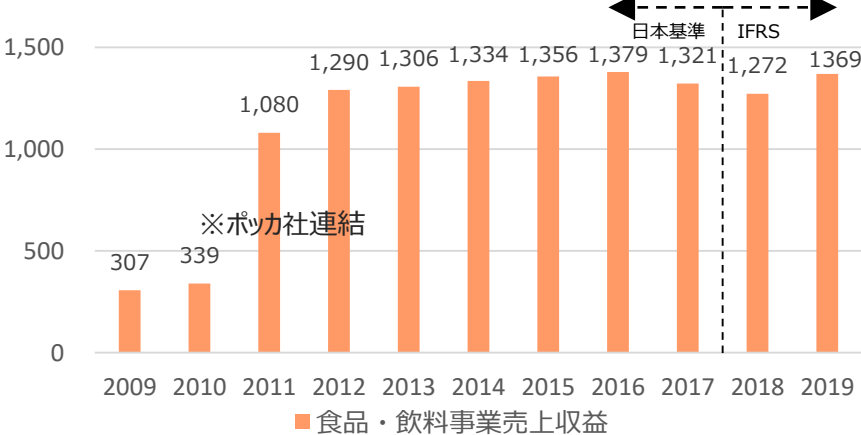
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

ポッカサッポロフード&ビバレッジは、サッポログループの食品・飲料事業を担い、食品や飲料に関わるビジネスを国内外で広く展開しています。食品事業では、レモンやスープなどのブランドを強化・育成、ヘルスケアやナチュラルフード等の新規カテゴリー創出を図ります。飲料事業は、差別化できるブランドへ経営資源を集中し、技術や素材を活かした新たなブランドの開発を目指します。また、海外事業は、ブランド認知率の高いシンガポールを拠点に、次なる基盤となる製造・販売の拠点を確立し、積極的なマーケティングによるビジネス拡大で飛躍的な成長を図ります。

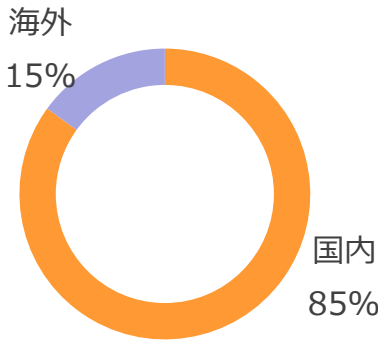
★基本情報

資本金 54億31百万円
所在地 愛知県 名古屋市
市場参入 1909年6月 日本のビール会社として初めて清涼飲料水事業に進出
ビールを製造する工程で発生する炭酸ガスを利用して、
シトロンの製造販売を開始
1957年1月 米国・カナダドライ社と合併にて、国際飲料株式会社を設立
＜サッポロ飲料(株)の創業＞
1957年2月 レモン飲料の製造販売を目的としてニッカレモン株式会社を設立
＜(株)ポッカコーポレーションの創業＞
2009年9月 (株)ポッカコーポレーション株式 21.41%取得 *持分法適用会社化
2011年3月 (株)ポッカコーポレーション株式 86.76%取得 *連結子会社化
2011年12月末時点(株)ポッカコーポレーション株式 98.59%取得
*取得原価 34,803百万円
2012年3月 食品・飲料事業の統合会社としてポッカサッポロフード&ビバレッジ社設立
2012年12月 (株)ポッカコーポレーション株式 持分100%化完了
2013年1月 ポッカサッポロフード&ビバレッジによる吸収合併実施
(ポッカコーポレーションとサッポロ飲料が消滅)
生産拠点 食品・飲料工場(名古屋、群馬)、食品工場(磐田、仙台)、飲料工場(沖縄)
事業内容 飲料水及び食品事業、外食事業、その他

★食品・飲料事業売上収益の推移 単位：億円



★国内・海外：ポッカサッポロフード&ビバレッジ
食品・飲料事業売上収益の構成比



★商品ラインナップ

レモンの商品 (食品・飲料)



飲料の商品



スープの商品



大豆・チルドの商品





日本

サッポログループの状況

★国内：ポッカサッポロフード&ビバレッジ
2019年の成長率及び売上数量

【レモン飲料】
✓ 前期比**108%**

【茶系飲料】
✓ 前期比**98%**

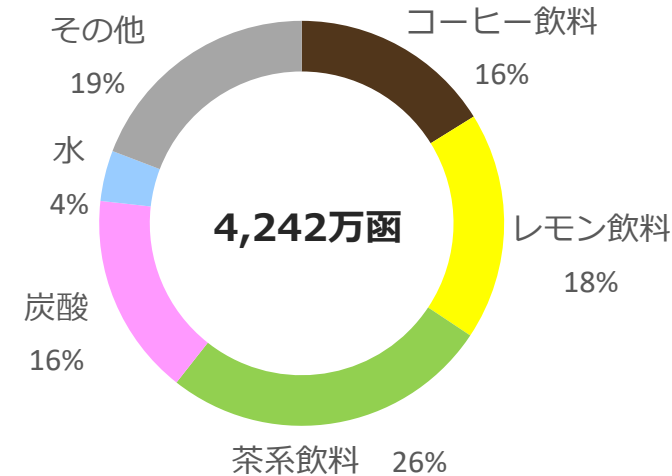
【コーヒー飲料】
✓ 前期比**89%**

【レモン食品】
✓ 前期比**107%**

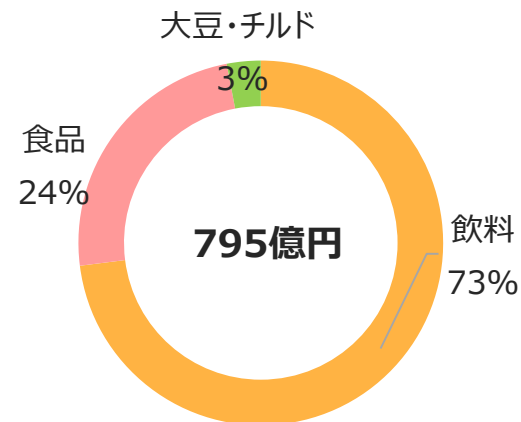
【スープ類】
✓ 前期比**98%**

【大豆チルド】
✓ 前期比**113%**

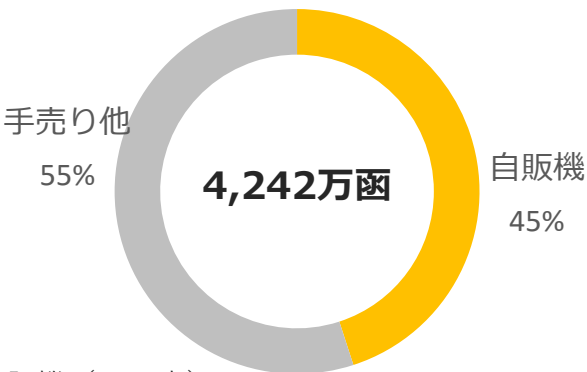
★国内：ポッカサッポロフード&ビバレッジ
国内飲料ジャンル別販売数量 構成比 2019年



★国内：ポッカサッポロフード&ビバレッジ
売上金額構成比（国内）



★国内：ポッカサッポロフード&ビバレッジ
国内飲料チャネル別販売数量 構成比



※自販機（12月末）
自社ブランド約76千台 + 白ベンコラム



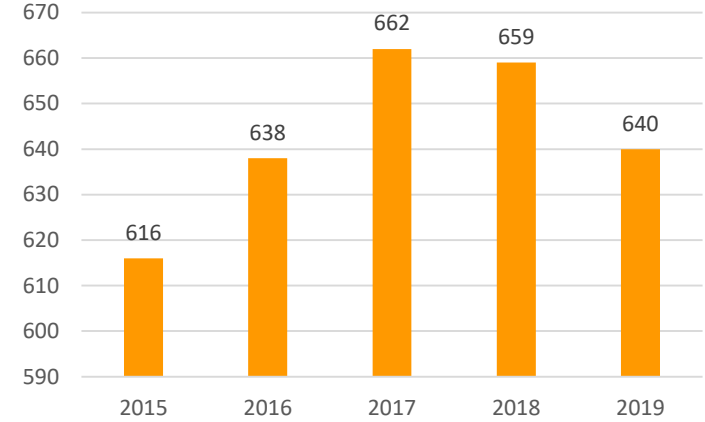
日本

スープ市場
レモン果汁市場
サッポログループの状況

日本国内スープ市場推移・レモンの市場概要

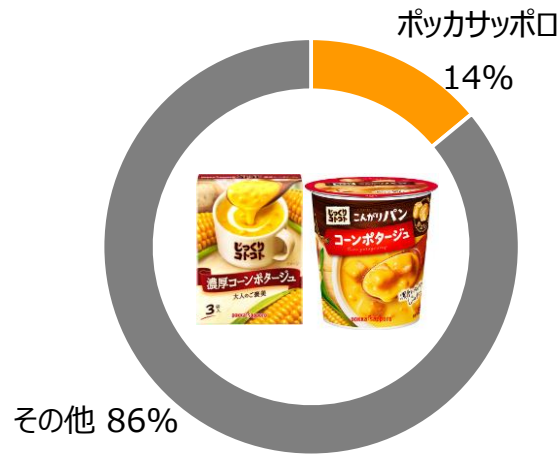
★日本国内 インスタント+カップインスタントスープ市場（億円）

出典：インテージSRI インスタント+カップインスタントスープ市場
2015-2019年 販売金額



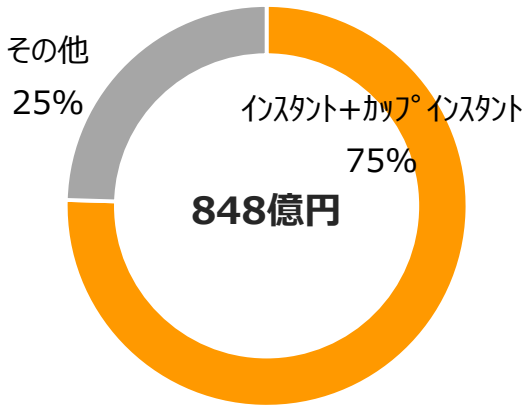
★ポッカサッポロフード&ビバレッジ
インスタント+カップインスタントのシェア 2019年

出典：インテージSRI インスタント+カップインスタントスープ市場
2019年 販売金額シェア



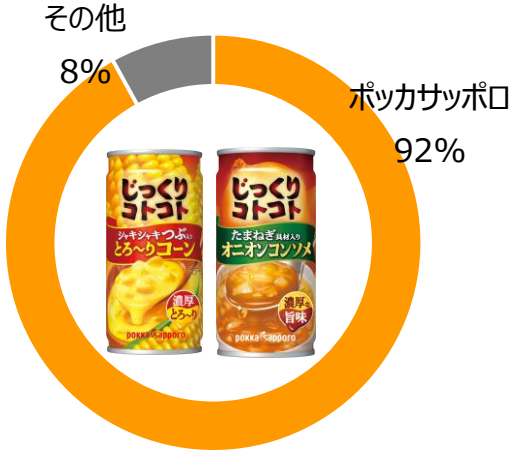
★日本国内 スープ市場カテゴリー別構成比

出典：インテージSRI スープ市場 2019年 販売金額



★ポッカサッポロフード&ビバレッジ
インスタントスープ 缶ドリンクのシェア 2019年

出典：インテージSRI インスタントスープ缶ドリンク市場
2019年 販売金額シェア



★ポッカサッポロフード&ビバレッジの状況
スープ 2019年

出典：インテージSRI スープ市場 2019年1-12月
推計販売金額・金額シェア

販売金額（インスタント+カップインスタント）：89億円

前期比：97.1% **シェア：13.9%**

販売金額（缶ドリンク）8.0億円

前期比：82.2% **シェア：92.4%**

生産拠点：4工場（名古屋、群馬、磐田、仙台）

★ポッカサッポロフード&ビバレッジの状況
レモン果汁調味料 2019年

出典：インテージSRI レモン果汁調味料市場 2019年1-12月
推計販売金額・金額シェア

販売金額：41億円

前期比：103.8% **シェア：85.0%**

生産拠点：1工場（名古屋）



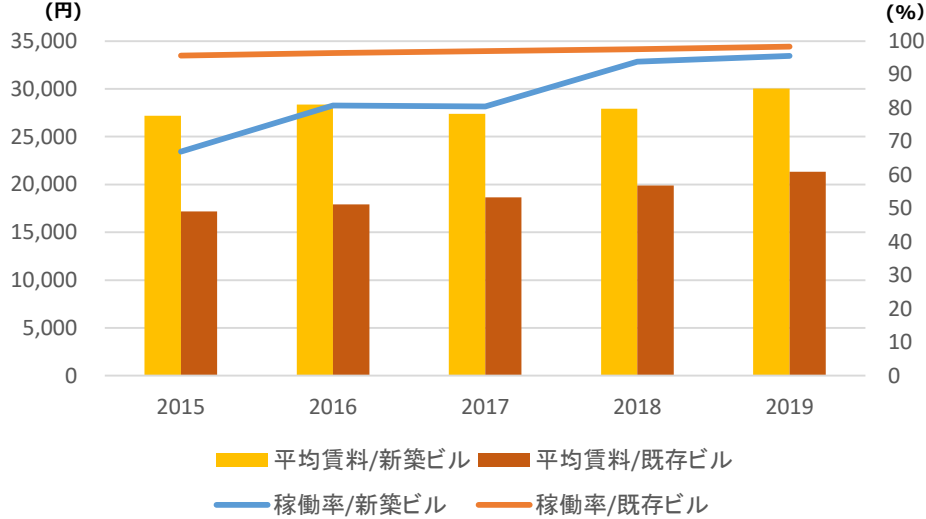


日本

不動産市況概要と
サッポログループの状況

不動産の市場状況

★東京ビジネス地区オフィス年間平均稼働率・賃料推移
(円)



出典：三鬼商事

	2014	2015	2016	2017	2018	2019
稼働率/平均(%)	93.8	95.1	96.1	96.7	97.5	98.3
稼働率/新築ビル	83.0	67.0	80.7	80.5	93.9	95.6
稼働率/既存ビル	93.9	95.7	96.4	97.0	97.6	98.4
平均賃料/平均 (円/坪)	16,616	17,412	18,200	18,879	20,000	21,585
平均賃料/新築ビル	27,312	27,186	28,355	27,402	27,928	30,039
平均賃料/既存ビル	16,402	17,195	17,917	18,668	19,899	21,341



サッポロ不動産開発株式会社

「恵比寿ガーデンプレイス」と「サッポロファクトリー」「GINZA PLACE」を中心とした都市開発事業および不動産事業を行っています。今後は、これまで培ってきた都市開発のノウハウを最大限活かし、個性ある企業を目指していきます。

★基本情報

事業会社	サッポロ不動産開発株式会社
資本金	20億80百万円
市場参入	1988年6月
事業内容	不動産の賃貸管理、不動産開発、ホテル運営等

★当社主要賃貸不動産物件別年間平均稼働率

	2014	2015	2016	2017	2018	2019
恵比寿ガーデンプレイス (%)	82	92	99	98	100	99
恵比寿ファーストスクエア						
(旧星和恵比寿ビル) (%)	23	100	100	100	99	100
GINZA PLACE(旧銀座ビル)(%)	*14.0	*0.0	-	99	99	99
ストラータ銀座 (%)	100	100	100	100	100	100

*物件再開発

- ①星和恵比寿ビル→建替。恵比寿ファーストスクエアとして2014年9月竣工 満室稼働。
- ②サッポロ銀座ビル→建替。GINZA PLACEとして2016年9月開業。

★当社賃貸等不動産期末時価推移 単位 百万円

	2015年 期末	2016年 期末	2017年 期末	2018年 期末	2019年 期末
貸借対照表計上額	197,666	201,763	200,001	215,522	219,589
当期末時価	357,395	389,101	397,581	385,992	402,111



日本

サッポログループの状況

★サッポログループ保有不動産

グループに地縁のある恵比寿、銀座、札幌をメインエリアに不動産賃貸事業・開発等を行っています。

<複合商業施設>

恵比寿ガーデンプレイス

(サッポロビール恵比寿工場跡地を再開発)

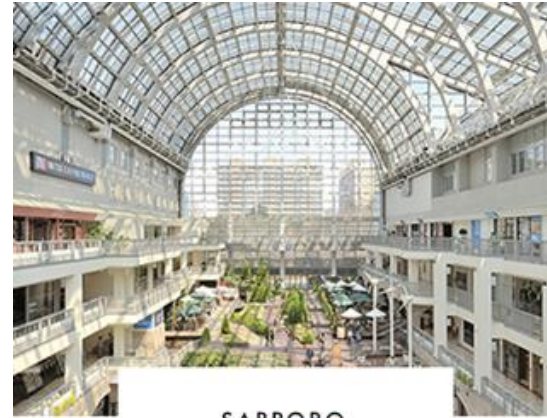


所在地	東京都渋谷区恵比寿4丁目20番 東京都目黒区三田1丁目4番、13番
敷地面積	約83,000㎡ (25,200坪) うちオフィス棟部分 56,943㎡
建築面積	約32,000㎡ (9,700坪)
延床面積	約478,000㎡ (144,600坪) うちオフィス棟部分 298,007㎡
オフィス棟規模	地下5階 地上40階建
開業	1994年10月

※EBITDA112億円
(恵比寿ガーデンプレイス関連)

サッポロファクトリー

(サッポロビール札幌工場跡地を再開発)



所在地	北海道札幌市中央区北2条東4丁目
敷地面積	約47,000㎡ (14,300坪)
建築面積	約32,400㎡ (9,800坪)
延床面積	約160,000㎡ (48,400坪)
開業	1993年4月

※EBITDA18億円
(北海道関連)

GINZA PLACE



所在地	東京都中央区銀座5-8-1
敷地面積	約645㎡
延床面積	約7,350㎡
規模	地下2階、地上11階建
開業	2016年9月

※EBITDA41億円
(銀座プレイスを含むその他物件/事業)



恵比寿ファーストスクエア

所在地	東京都渋谷区恵比寿 1-18-14
敷地面積	2,596㎡
延床面積	16,012㎡
規模	地下1階 地上12階建
竣工	2014年9月
用途	オフィスビル



STRATA GINZA

所在地	東京都中央区銀座 7-10-1
敷地面積	1,117㎡
延床面積	11,411㎡
規模	地下1階 地上13階建
竣工	2006年9月
用途	ホテル、物販店舗、 飲食店舗

*区分所有 土地922㎡、建物89.72%



Sreed EBISU

所在地	東京都渋谷区恵比寿 1-20-4
敷地面積	237㎡
延床面積	1,253㎡
規模	地下1階 地上8階建
竣工	2019年3月
用途	オフィス、店舗等

*取得日 2019年4月



日本

外食産業市場とサッポログループの状況

日本外食産業市場概要

★日本国内 外食産業市場 2018年

外食産業市場規模：26兆2,462億円
うち、居酒屋・ビヤホール市場規模：約1兆91億円
喫茶市場規模：約1兆1,449億円

外食産業市場伸び率：+0.8%
うち、居酒屋・ビヤホール市場伸び率：-1.5%
喫茶市場伸び率：+0.8%

外食産業市場データの出典：日本フードサービス協会

*日本フードサービス協会会員への調査結果に基づく
データの為、上記の市場規模推計結果とは一致しません。
*2019年最新情報は6月～7月に掲載予定

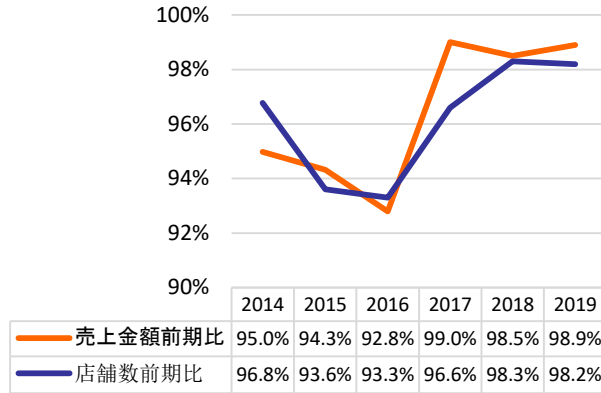
(株) サッポロライオン

1899 (明治32) 年、東京銀座にわが国初のビヤホールを開店して以来、外食産業のパイオニアとして各種飲食店を経営。おいしい生ビールの提供とともに、「安全・安心、本物志向」をテーマにしたメニュー開発を推進しています。

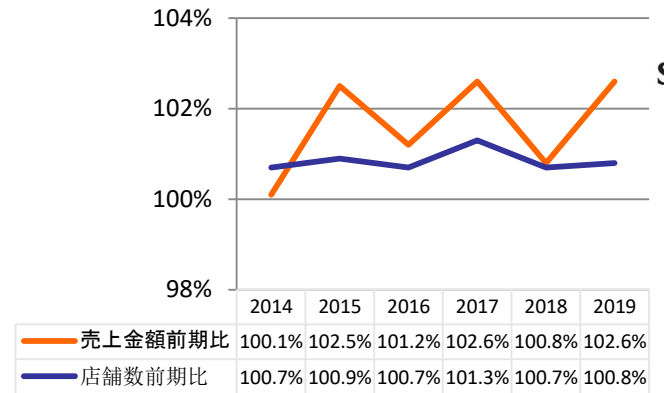
★ビヤホール・居酒屋業態

事業会社 株式会社サッポロライオン
資本金 48億78百万円
市場参入 1899年8月4日
日本初のビヤホール
「恵比寿ビヤホール」、東京・銀座に誕生
(サッポロライオン社の創業)
1949年9月
日本共栄株式会社設立
(サッポロライオン社の創立)
事業内容 ビヤホール、レストランの運営
ビヤホール「銀座ライオン」、
ビヤバー「YEBISU BAR」を中心に
和食業態「かこいや」、「入母屋」、
ダイニング「点」など複数の業態・
ブランドにて店舗展開

★日本国内 居酒屋・ビヤホール市場 売上金額、店舗数前期比

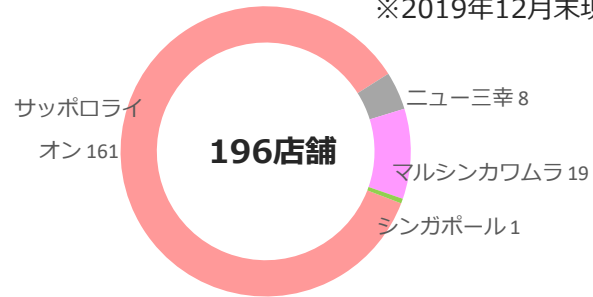


★日本国内 喫茶市場 売上金額、店舗数前期比



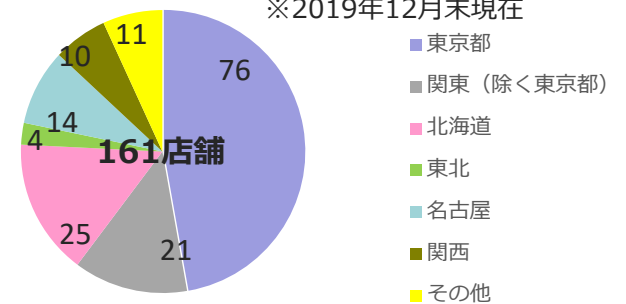
★サッポログループ 外食事業 店舗数構成比

※2019年12月末現在

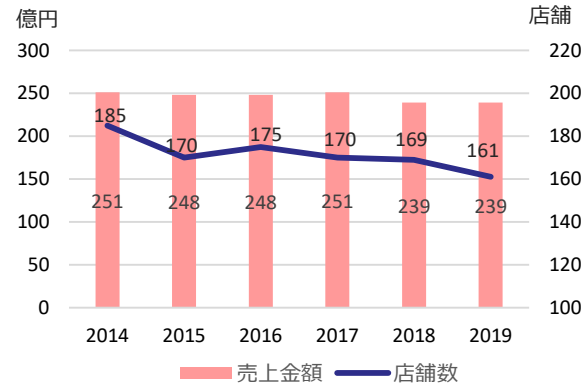


★サッポロライオン単体 店舗数地域別構成比

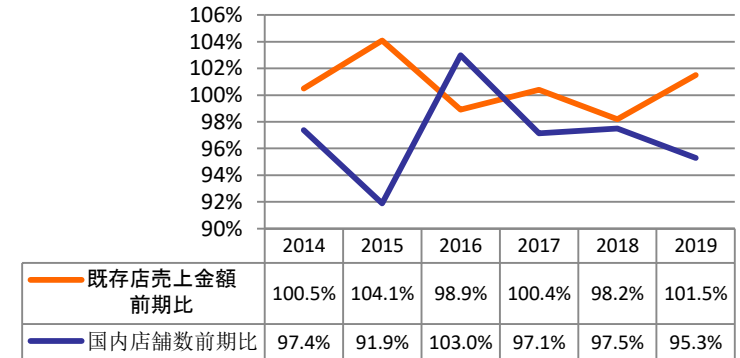
※2019年12月末現在



★サッポロライオン単体 国内店舗数と売上金額の推移



★サッポロライオン単体 店舗数と売上金額前期比





日本

サッポログループの状況

★ビヤホールライオン銀座七丁目店



1934年開店、現存する日本最古のビヤホール。
この1階のビヤホールは開業以来、全く変わらぬ佇まい
のまま、現在に至ります。



店舗内のモザイク壁画（タテ2.75m、ヨコ5.75m）
250色ズマルト（ガラス）のモザイク壁画。
開店から80年余りを経た現在も色褪せることなく店
舗内を彩っています。制作はビヤホールを設計した
菅原栄蔵氏らによるもの。



★エビスバー



銀座二丁目店

＜エビスバー＞
“ALL FOR YEBISU－エビスの魅力と世界
観を楽しむ”がコンセプトのエビスビールの魅力を
味わっていただくためのビヤバーです。

★ニュー三幸 小樽本店



＜ニュー三幸＞
1954年北海道小樽で創業
ビヤホール業態 中心
北海道小樽を中心に8店舗展開

★くし路 KITTE丸の内店



＜マルシカワムラ＞
1995年北海道札幌で創業
2016年6月より新規連結
北海道札幌を中心に
「くし路」「札幌銀鱈」など18店舗展開



日本

サッポログループの状況

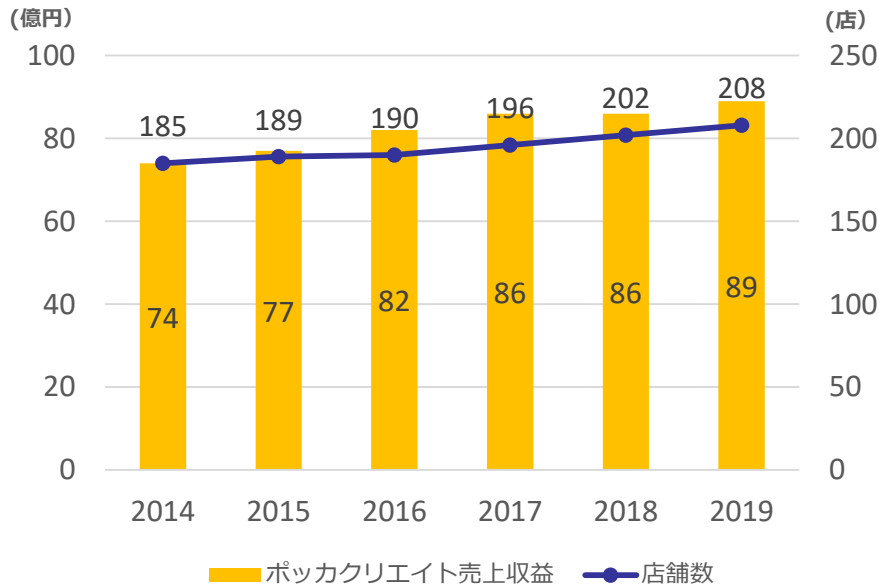
(株)ポッカクリエイト

コーヒーショップ「カフェ・ド・クリエ」は、1994年に愛知県名古屋市中で1号店がオープンし、その後エリアを広げて、現在は北海道から沖縄まで全国約200店舗を展開しています。お客様にくつろぎの空間を提供し、「コーヒー一杯のしあわせ」からはじまる「たくさんのしあわせ」をお届けしています。

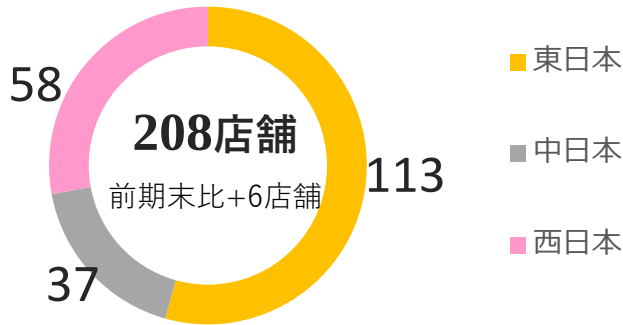
★基本情報

事業会社	株式会社ポッカクリエイト (ポッカサッポロフード&ビバレッジ社の100%子会社)
資本金	3億円
市場参入	1994年10月設立
事業内容	カフェチェーン「CAFÉ de CRIE」の運営

★ポッカクリエイト
店舗数と売上収益の推移



★ポッカクリエイト
地域別店舗数
2019年12月末現在



★ポッカクリエイト
直営/FC店舗数
2019年12月末現在



③サッポログループ財務データ

➤ グループ概要.....	33
➤ 財務データ（損益動向、財務状態、セグメント情報他）.....	34
➤ 会社情報.....	40

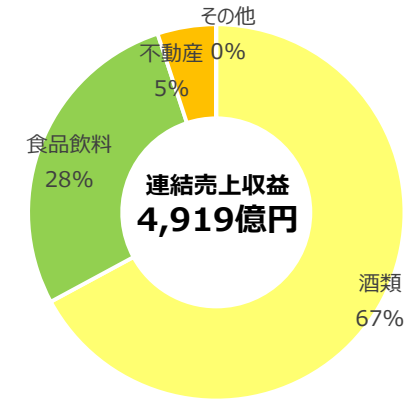
サッポログループは1876年の北海道開拓使麦酒醸造所設立によるビール製造開始以来、原料にこだわったモノづくりへの真摯な取り組みを続け、お客様にご満足いただける商品・サービスの提供に努めています。

国内に数多ある食品企業の中でも、『酒』『食』『飲』の3分野を展開するユニークな「食品企業」としての強みを活かし、不動産事業とともにグループ保有のブランドを育成・強化することにより、個性かがやくブランドカンパニーとなることを目指しています。

【2019実績】

売上収益： **4,919億円**
 売上収益（酒税抜き）：**3,711億円**
 事業利益： **117億円**
 事業利益率： **2.4%**
 EBITDA： **360億円**

売上収益内訳



サッポログループ
全体概要

酒類

【2019実績】

売上収益： **3,302億円**
 事業利益： **85億円**
 事業利益率： **2.6%**
 EBITDA： **199億円**

- 将来の酒税一本化を見据え、ビールカテゴリーに経営資源を集中投下
- 日本ワイン「グランボレル」、輸入ワイン「ペンフォールズ」「テタンジェ」などファインワインを強化
- スピリッツでは世界NO.1ラム「バカルディ」と販売業務提携

食品飲料

【2019実績】

売上収益： **1,369億円**
 事業利益： **▲5億円**
 事業利益率： **▲0.3%**
 EBITDA： **53億円**

- 市場拡大が見込まれるレモン飲料、スープに強いブランド力を持つ
- シンガポールの緑茶飲料での圧倒的なシェア（69%）を活かし、東南アジア、中東で成長
- 2015年に豆乳事業に参入、食品メーカーとして事業領域拡大を図る

不動産

【2019実績】

売上収益： **247億円**
 事業利益： **107億円**
 事業利益率： **43.5%**
 EBITDA： **159億円**

- 主力の恵比寿ガーデンプレイスはオフィス稼働率100%で推移、商業エリアのリニューアルを進め資産価値を高める
- 「GINZA PLACE」（銀座の中心部の敷地の再開発）は2016年9月に開業
- 恵比寿、銀座、札幌地区中心の賃貸等不動産の含み益は**1,828億円**

損益計算書データ

JGAPP								IFRS		
	2011/12	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12		2018/12	2019/12
売上高 (酒税込み) (百万円)	449,452	492,490	509,834	518,740	533,748	541,847	551,548	売上収益 (百万円)	493,908	491,896
売上高 (酒税抜き) (百万円)	336,837	379,792	395,377	401,813	418,319	424,059	433,260	売上収益 (酒税抜き) (百万円)	370,796	371,100
売上原価 (百万円)	286,678	313,117	329,605	336,388	352,808	352,420	358,572	売上原価 (百万円)	335,631	336,682
販管費及び一般管理費 (百万円)	143,890	164,958	164,884	167,623	166,990	169,159	175,943	販管費及び一般管理費 (百万円)	143,118	143,490
営業利益 (百万円)	18,883	14,414	15,344	14,728	13,950	20,267	17,032	事業利益 (百万円)	15,159	11,723
経常利益 (百万円)	16,807	13,689	15,130	14,565	13,211	19,202	16,410	営業利益 (百万円)	11,588	12,208
E B I T D A (百万円)	46,476	44,099	44,388	42,974	42,327	46,529	44,558	E B I T D A * (百万円)	39,751	35,971
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,164	5,393	9,451	340	6,108	9,469	10,977	親会社の所有者に帰属する当期純利益 (百万円)	8,521	4,356
海外売上高比率 (酒税抜き) (%)	11.0	14.1	18.3	19.2	22.6	20.5	21.2	海外売上収益比率 (酒税抜き) (%)	16.9	16.3
売上高総利益率 (酒税抜き) (%)	48.3	47.2	45.6	45.4	43.3	44.7	44.5	売上収益総利益率 (%)	32.0	31.6
売上高販管費率 (酒税抜き) (%)	42.7	43.4	41.7	41.7	39.9	39.9	40.6	売上収益販管費率 (%)	29.0	29.2
売上高営業利益率 (酒税抜き) (%)	5.6	3.8	3.9	3.7	3.3	4.8	3.9	売上収益事業利益率 (%)	3.1	2.4

貸借対照表データ

JGAPP								IFRS		
	2011/12	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12		2018/12	2019/12
総資産 (百万円)	550,784	597,636	616,752	625,439	620,388	626,351	630,630	資産合計 (百万円)	639,692	638,722
純資産 (百万円)	124,775	134,946	155,366	160,004	163,822	166,380	177,662	資本合計 (百万円)	164,735	174,524
流動資産 (百万円)	129,018	138,258	147,336	156,372	156,364	164,183	168,852	流動資産 (百万円)	153,544	155,765
固定資産 (百万円)	421,766	459,377	469,416	469,066	464,023	462,168	461,778	非流動資産 (百万円)	486,148	482,957
流動負債 (百万円)	212,589	243,146	227,308	211,771	233,643	212,123	220,173	流動負債 (百万円)	214,591	210,472
固定負債 (百万円)	213,418	219,543	234,077	253,662	222,921	247,847	232,794	非流動負債 (百万円)	260,367	253,725
金融負債 (百万円)	219,168	257,646	247,828	247,556	234,741	238,143	233,588	金融負債 (百万円)	228,346	227,341
自己資本比率 (%)	22.4	22.1	24.6	25.0	25.5	25.7	27.5	親会社所有者帰属持分比率	25.2	27.3
負債比率 (%)	345.5	351.1	304.2	297.8	289.1	286.3	261.1	負債比率 (%)	294.1	266.7
固定比率 (%)	342.1	348.6	309.5	300.1	293.8	287.6	266.2	非流動比率 (%)	301.0	277.4
固定長期適合率 (%)	125.3	130.8	121.7	114.4	121.8	113.1	113.7	非流動長期適合率 (%)	115.2	112.9
流動比率 (%)	60.7	56.9	64.8	73.8	66.9	77.4	76.7	流動比率 (%)	71.6	74.0
E B I T D A有利子負債 倍率	4.5	5.6	5.3	5.5	5.3	4.9	5.0	E B I T D A有利子負債 倍率	5.5	5.9
D/ELシオ (倍)	1.8	1.9	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3	D/ELシオ (倍)	1.4	1.2

セグメント別 売上高&売上収益

JGAPP								IFRS		
	2011/12	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12		2018/12	2019/12
酒類事業売上高 (酒税込み) (百万円)	294,077	306,068	323,125	330,704	344,153	344,877	348,529	酒類事業売上収益 (百万円)	330,009	324,438
国内酒類事業売上高 (酒税込み) (百万円)	268,189	269,947	274,909	281,031	273,651	279,476	278,692	日本・アジア酒類事業売上収益 (百万円)	252,108	248,916
国際酒類事業売上高 (百万円)	25,888	36,121	48,215	49,672	70,501	65,400	69,837	北米酒類事業売上収益 (百万円)	50,332	48,257
外食事業売上高 (百万円)	24,091	26,621	26,827	27,143	27,004	28,120	29,140	外食事業売上収益 (百万円)	27,569	27,265
食品・飲料事業売上高 (百万円)	108,060	129,017	130,671	133,439	135,670	137,918	137,898	食品飲料事業売上収益 (百万円)	133,384	136,876
不動産事業売上高 (百万円)	22,468	23,217	22,767	21,509	20,872	22,900	24,134	不動産事業売上収益 (百万円)	24,483	24,690
その他事業売上高 (百万円)	755	7,565	6,442	5,944	6,048	8,031	11,845	その他事業売上収益 (百万円)	6,033	5,892

セグメント別 営業利益&事業利益

	JGAPP							IFRS		
	2011/12	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12		2018/12	2019/12
酒類事業営業利益 (百万円)	9,682	7,448	11,109	10,365	8,789	12,652	10,553	酒類事業 事業利益 (百万円)	8,952	8,706
国内酒類事業営業利益 (百万円)	9,304	7,522	9,901	10,192	8,635	11,745	11,767	日本・アジア酒類事業 事業利益 (百万円)	7,166	8,190
国際酒類事業営業利益 (百万円)	378	-73	1,208	172	154	906	-1,214	北米酒類事業 事業利益 (百万円)	1,473	199
外食事業営業利益 (百万円)	219	538	415	303	522	663	330	外食事業 事業利益 (百万円)	381	388
食品・飲料事業営業利益 (百万円)	3,690	364	-1,483	121	434	1,314	564	食品飲料事業 事業利益 (百万円)	1,409	-470
不動産事業営業利益 (百万円)	8,552	9,396	8,685	7,695	8,281	10,328	11,261	不動産事業 事業利益 (百万円)	11,136	10,737
その他事業営業利益 (百万円)	-643	-413	231	183	1	95	51	その他事業 事業利益 (百万円)	174	-184
酒類事業営業利益率 (酒税抜き) (%)	5.3	3.8	5.3	4.8	3.8	5.6	4.6	酒類事業 事業利益率 (%)	2.7	2.7
国内酒類事業営業利益率 (酒税抜き) (%)	6.0	4.6	6.2	6.2	5.5	7.3	7.3	日本・アジア酒類事業 事業利益率 (%)	2.8	3.3
国際酒類事業営業利益率 (%)	1.5	-0.2	2.5	0.3	0.2	1.4	-1.7	北米酒類事業 事業利益率 (%)	2.9	0.4
外食事業営業利益率 (%)	0.9	2.1	1.5	1.1	1.9	2.4	1.1	外食事業 事業利益率 (%)	1.4	1.4
食品・飲料事業営業利益率 (%)	3.4	0.3	-1.1	0.1	0.3	1.0	0.4	食品・飲料事業 事業利益率 (%)	1.1	-0.3
不動産事業営業利益率 (%)	38.1	40.5	38.1	35.8	39.7	45.1	46.7	不動産事業 事業利益率 (%)	45.5	43.5
その他事業営業利益率 (%)	-85.2	-47.4	3.6	3.1	0.0	1.2	0.4	その他事業 事業利益率 (%)	2.9	-3.1

キャッシュフロー情報

	JGAPP							IFRS	
	2011/12	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12
営業活動 C F (百万円)	22,313	29,618	32,861	22,284	35,265	32,570	30,004	30,830	36,069
投資活動 C F (百万円)	-50,891	-59,485	-13,268	-17,229	-9,755	-27,586	-17,822	-18,727	-24,930
財務活動 C F (百万円)	24,245	30,159	-19,147	-7,307	-24,802	-4,827	-10,171	-14,521	-5,984
フリー C F (百万円)	-28,578	-29,867	19,593	5,055	25,510	4,984	12,182	12,103	11,140
現金・同等物期末残高(百万円)	9,057	9,725	11,518	9,748	10,399	10,475	12,536	9,989	15,215
設備投資額(百万円)	13,422	53,870	13,768	19,133	20,339	21,809	15,253	23,036	31,123
減価償却費(百万円)	24,482	25,805	25,058	24,481	24,224	22,341	23,571	24,591	24,247
のれん償却額(百万円)	3,110	3,879	3,985	3,764	4,153	3,920	3,954	-	-

1 株当たり情報

	JGAPP							IFRS	
	2011/12	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12
1株当たり当期純利益/ (IFRS)基本的1株当たり当期利益(円)	8.08	13.77	24.20	0.87	78.40	121.56	140.93	109.40	55.92
1株当たり配当金(円)	7	7	7	7	35	37	40	42	42
1株当たり純資産/ (IFRS)1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	314.87	336.60	388.77	401.17	2027.20	2062.86	2227.02	2073.54	2234.65
配当性向(%)	86.6	50.8	28.9	802.6	44.6	30.4	28.4	38.4	75.1
株価（各年12月末）(円)	291	279	442	512	2,660	3,010	3,450	2,293	2,579

※2016年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合を持って株式併合を実施しております。
2015年の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、一株あたり情報並びに株価を算出しております。

各種指標

	JGAPP							IFRS	
	2011/12	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12
ROA/ (IFRS)資産合計事業利益率(%)	3.4	2.4	2.5	2.4	2.3	3.2	2.7	2.3	1.8
ROE/ (IFRS)親会社所有者帰属持分当期利益率(%)	2.5	4.2	6.7	0.2	3.9	5.9	6.6	5.1	2.6
総資産回転率/ (IFRS)資産合計回転率(回)	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7

オンライングラフURL

グラフ表示はこちらをご覧ください。
<https://www.sapporoholdings.jp/ir/financial/graph/>

サッポロホールディングス株式会社

本社
〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号

お問い合わせ先
サッポロホールディングス株式会社
経理部 IR室
Tel. 03-6859-2304 Fax.03-5423-2061

設立
1949（昭和24）年9月1日

創業
1876（明治9）年

代表者
代表取締役社長：尾賀 真城

事業概要
持株会社（グループの経営戦略の策定、管理）

資本金
53,887百万円

発行済株式数
78,794,298株（2019年12月31日現在）

証券コード
2501

株主名簿管理人
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
（フリーダイヤル）0120-288-324

単元株式数 100株
大株主（上位10名及びその状況） 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

2019年12月31日現在

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	6,520	8.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,100	3.97
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	2,442	3.13
日本生命保険相互会社	2,237	2.87
明治安田生命保険相互会社	2,236	2.87
農林中央金庫	1,875	2.40
丸紅株式会社	1,649	2.11
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,594	2.04
大成建設株式会社	1,400	1.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	1,387	1.78

潤いを創造し 豊かさに貢献する

